

令和3年度 三重県教員研修計画

一子どもたちが豊かな未来を創っていくために一



令和3年3月
三重県教育委員会

もくじ

I	三重県教員研修計画について	1
II	ライフステージ別研修計画	2
	1【第1ステージ：基礎形成期】 初任～教職経験5年次	3
	2【第2ステージ：伸長期】 教職経験6年次～10年次	7
	3【第3ステージ：充実期】 教職経験11年次～20年次	11
	4【第4ステージ：発展期】 教職経験21年次以降	15
	5【教頭・准校長：マネジメント力の向上】	19
	6【校長 : マネジメント力の発揮】	21
	7 法定・悉皆（しっかい）研修対象指標項目一覧	23
III	教育課題対応研修別対象ライフステージ一覧	28
	1 県教育委員会研修企画・支援課及び 研修推進課実施の研修講座	29
	2 その他の県教育委員会実施の研修講座	30
IV	動画配信によるオンデマンド型研修（ネットDE研修）	31
V	参考	35
	○ 校長及び教員としての資質の向上に関する指標	36

※ 県教育委員会研修企画・支援課及び研修推進課が実施する研修の詳細については、三重県総合教育センターのWebページ（<http://www.mpec.jp/>）等で確認してください。

※ 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」については、三重県教育委員会のWebページ（<https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0044700018.htm>）でもご覧いただくことができます。

I 三重県教員研修計画について

これからの社会を担う子どもたちには、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力を育むことが求められています。また、外国人児童生徒教育や特別支援教育、いじめ問題等、学校を取り巻く状況は複雑化・多様化しています。このような課題等に的確に対応していくため、コンプライアンスをはじめとする素養や児童生徒理解、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業力向上等、高い専門性を身につけられるよう、教員の資質の向上に向けた研修が一層求められています。

1 学校の働き方改革における配慮事項

研修の実施にあたっては、教員が子どもと向き合う時間を確保するため、従前から初任者研修や中堅教諭等資質向上研修の実施時間及び日数を弾力的に設定したり、研修報告書等を研修内容に応じて簡素化したりするなど、改善を進めてきました。また、夏季等の長期休業期間における研修の精選や実施時期の調整を進めました。さらに教員が研修を受講しやすいよう、研修形態として集合型研修、Web会議システムを活用した双方向型研修、動画配信によるオンデマンド型研修（ネットDE研修）を組み合わせて実施するとともに、市町等教育委員会等と連携して、地域で研修講座（ブロック別研修）を実施します。引き続き、免許状更新講習の科目と中堅教諭等資質向上研修の科目の整理・合理化や相互認定について検討を進めます。

2 教員研修計画の策定

これらの状況をふまえ、県教育委員会では「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を基に、教員一人ひとりが教職生活を俯瞰しつつ、それぞれの職責・経験及び適性に応じ、さらに高度な資質・能力を身につけるため生涯にわたって学び続けられるよう、「令和3年度三重県教員研修計画－子どもたちが豊かな未来を創っていくために－」を定めました。

3 教員研修計画の構成

本研修計画には、県教育委員会各課が実施する研修を記載しました。

初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修の法定研修や教職6年次研修等の悉皆（しっかい）研修では、ライフステージをとおして求められる素養や専門性を全ての教員がそれぞれの段階で修得できるよう内容を構成したうえで、研修講座を設定しています。

また、授業力向上や情報教育、人権教育、特別支援教育等多様な教育課題について、教員が主体的に学ぶことのできる機会として、ICTの効果的な活用を位置づけ、教育課題対応研修を設定しています。さらに、自分の課題に応じて、いつでも・どこでも・なんどでも研修を受けることのできる動画配信によるオンデマンド型研修（ネットDE研修）により素養、専門性全般にわたる研修機会を提供しています。

4 教員研修計画の活用について

校長を中心に、教員がライフステージにおけるそれぞれの役割を認識し、組織的・計画的にOJTを進めるなかで、研修で修得した個々の学びが校内で還流されることにより、他の教員の学びにつながり、ひいては学校全体の教育力の向上が図られます。

一人ひとりの教員が、自分は今どのような力を修得しているか、これからどのような資質・能力を修得していくことが必要か等、それらをしっかり認識したうえで、自己を磨き、高めていくことができるよう、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」とあわせて、「令和3年度三重県教員研修計画－子どもたちが豊かな未来を創っていくために－」に基づき実施する研修講座を活用してください。

Ⅱ ライフステージ別研修計画

ライフステージ別に、それぞれに求められる資質・能力を修得するための研修講座を示しました。

また、法定・悉皆（しっかい）研修対象指標項目一覧においては、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修等の法定・悉皆（しっかい）研修^{※1}において、修得することが求められる資質・能力の項目を示しています。

指標をふまえ、自らが位置するライフステージで求められる資質・能力を確認しながら、職種や経験等に応じて計画的に受講してください。

※1 悉皆（しっかい）研修

- ・経験年数やその職務に応じて全員が必ず受けなければいけない研修

○「対応する研修講座」について

- ・太字は法定・悉皆（しっかい）研修です。
- ・【 】の表示がない研修講座は、三重県教育委員会研修企画・支援課と研修推進課が実施します。詳細については、三重県総合教育センターWeb ページ (<http://www.mpec.jp/>) 等で確認してください。
- ・上記以外の県教育委員会各課が実施する研修講座については、【 】で担当課名^{※2}を、（ ）で対象校種^{※3}を記載しています。実施要項等については、各担当課より随時案内があります。

※2 担当課名

【小中】 → 小中学校教育課	【学力】 → 学力向上推進プロジェクトチーム
【高校】 → 高校教育課	【特支】 → 特別支援教育課
【生指】 → 生徒指導課	【人権】 → 人権教育課
【保体】 → 保健体育課	【総務】 → 教育総務課

※3 対象校種

- (小) → 小学校、義務教育学校前期課程
- (中) → 中学校、義務教育学校後期課程
- (高) → 高等学校
- (特) → 特別支援学校
- (全) → 全ての校種

1【第1ステージ：基礎形成期】初任～教職経験5年次

実践力を磨き、基礎・基盤を固める

資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
<p>教職を担うに必要とされる素養</p> <p>【教育的愛情 使命感 責任感】 ○児童生徒への深い愛情と教職への誇り、強い使命感と責任感を持って、職務を遂行することができる。</p> <p>【倫理観 コンプライアンス】 ○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底している。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を理解し、自らを厳しく律することができる。</p> <p>【社会性 コミュニケーション力】 ○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築することができる。 ○相手の思いを受け止めるとともに、自分の考えを適切に伝えることができ、組織の一員として行動できる。</p> <p>【学び続ける意欲 探究心】 ○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員と共に学び合い、職務の改善に活かすことができる。</p>	<p>初任者研修（第1、9、12～15回） 新規採用栄養教諭研修（第1回） 新規採用養護教諭研修（第1回） 常勤講師等研修（第2回）</p> <p>初任者研修（第1、12～15回） 新規採用栄養教諭研修（第1回） 新規採用養護教諭研修（第1回） 常勤講師等研修（第1回、第2回）</p> <p>初任者研修（第2、8、9、12～15回） 教職2～3年次研修（第1、2回） 三重大学教職大学院連携講座1</p> <p>初任者研修（第1、9、12～15回） 新規採用栄養教諭研修（第1、11回） 新規採用養護教諭研修（第1、11回） 県立特別支援学校訪問 専門高校訪問1,2 附属小学校訪問 附属中学校訪問 附属特別支援学校訪問 附属幼稚園訪問 三重大学教職大学院連携講座1、2、4</p>
<p>教職を担うに必要とされる専門性</p> <p>【児童生徒理解】 ○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を把握し、カウンセリングマインドを持って向き合うことができる。</p> <p>【授業力】 (授業計画) ○学習指導要領のねらいをふまえ、児童生徒の実態に応じて、児童生徒の主体的な学びを引き出す授業づくりができる。 (授業実践) ○児童生徒主体の授業を行うための適切な技能（説明・指示・発問等）を身につけ、各時限の目標を明確にした授業を実践し、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。 (授業改善) ○教科等の指導の工夫に努めるとともに、自らの授業を振り返り、他の教員の良いところを取り入れて、授業改善を図ることができる。</p>	<p>初任者研修（第1、3～7、10、12回） 新規採用栄養教諭研修（第1、2回） 新規採用養護教諭研修（第1、2、5回） 教職2～3年次研修（第4、5、6、8回） 養護教諭職務推進研修2、3 教育相談ベーシック研修1～7 三重大学教職大学院連携講座3 特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） 常勤講師等研修（第2、3回）</p> <p>初任者研修（第2、4、5、6、7、10、11回） 教職2～3年次研修（第3、4、5、6、8回） 新規採用栄養教諭研修（第4、9回） 新規採用養護教諭研修（第8回） 小学校国語授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 中学校国語授業づくり研修 中学校国語授業づくり研修 小中学校社会授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 小中学校算数・数学授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 小学校理科実験地域別研修 高校生物研修 小中学校理科授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 図工・美術授業づくり研修1,2 中学校技術授業づくり研修 小学校体育授業づくり研修 中学校体育授業づくり研修 英語力アップ研修（中学校教員対象、高校教員対象） 外国語教育におけるICT活用研修 教職2～3年次教員のための授業力アップ研修 小学校英語 Small Talk 実践研修 小学校英語教育研修 小学校英語授業づくり研修1（講義・協議） 小学校英語授業づくり研修2（実践1、2） 中学校英語教育研修 中学校英語地域別研修 中学校英語授業づくり研修1（講義・協議） 中学校英語授業づくり研修2（実践1、2） 高校英語授業づくり研修1（講義・協議） 高校英語授業づくり研修2（実践1、2） 小学校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 中学校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 高校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 高校英語教育研修 小中学校道徳科授業づくり研修</p>

教職を担うにあたり必要とされる専門性		<p>授業改善のための実践研修—県立学校の教科指導にかかわる公開授業をととして— N I E 講座—教育に新聞を— 附属小学校訪問 附属中学校訪問 附属特別支援学校訪問 常勤講師等研修 (第 1、3 回)</p> <p>【学力】 授業改善研修会 (小学校算数、中学校数学) (小・中) 授業改善研修会 (小学校国語、中学校国語) (小・中) ICT を活用したわかる授業推進事業に係る全体会 (小・中) 【小中】 道徳教育推進会議 (小・中) 小学校英語教育研修 (小) 中学校英語教育研修 (中) 幼稚園教育研究協議会 (小) 【高校】 外国語指導助手県内研修会 (全) 外国語指導助手の指導力等向上研修 (全) 外国語教育の充実を図るための研修会 (高)</p> <p>【保体】 小学校元気アップ研修会 (小・中) 中・高等学校元気アップ研修会 (中・高・特) 元気アップブロック別協議会 (全) 薬物乱用防止教室推進のための講習会 (全) がん教育についての講習会 (全) 学校給食の安全と充実に向けた講習会 (小・中・特) 学校における食育ステップアップ講習会 (全) 武道等指導力向上講習会 (中・高・特) 運動部活動指導者スキルアップ研修会 (中・高・特)</p>
	<p>【生徒指導】 ○日常的に児童生徒の生活状況を把握するとともに、児童生徒の発するサインを見逃すことなく、問題行動等を早期に発見し、他の教職員に報告・連絡・相談しながら迅速に対応することができる。</p>	<p>初任者研修 (第 3、10、11、12 回) 教職 2～3 年次研修 (第 4、5、6、8 回) 新規採用養護教諭研修 (第 5 回) アンガーマネジメントと言葉がけのスキル いじめをしない・させない心の育成に向けて 三重大学教職大学院連携講座 3 常勤講師等研修 (第 2、3 回)</p> <p>【生指】 小中学校生徒指導担当者講習会 (小・中) 高等学校生徒指導主事等研修会 (高・特)</p>
	<p>【学校組織運営力】 (学級経営 学校運営への参画) ○学校教育目標を理解し、学級経営や教科指導を実践するとともに、担当する校務分掌における自らの役割を自覚して、計画的に職務を遂行できる。</p>	<p>初任者研修 (第 8、11 回) 教職 2～3 年次研修 (第 4～7 回) 共に学ぶ学級経営 常勤講師等研修 (第 3 回)</p>
	<p>(危機管理) ○児童生徒の活動に際し、常に危機管理意識を持ち、他の教職員の指導・助言を受けながら的確な安全確保策を講じることができる。</p>	<p>初任者研修 (第 2 回) 新規採用栄養教諭研修 (第 1、6、7) 新規採用養護教諭研修 (第 1、4、6、7) 養護教諭職務推進研修 1 常勤講師等研修 (第 1、3 回)</p> <p>【生指】 防犯教室講習会 (中) 交通安全教室講習会 (小・高) 【総務】 学校危機管理専門研修会 (全)</p>
	<p>(チームワーク 人材育成) ○組織の一員として求められる役割を理解し、他の教職員からの指導・助言を受けながら協働し、円滑に職務を遂行することができる。</p>	<p>初任者研修 (第 3～8 回) 新規採用栄養教諭研修 (第 3、4 回) 新規採用養護教諭研修 (第 4 回)</p>
	<p>(家庭・地域社会・関係機関との連携と協働) ○主体的・積極的に家庭や地域と関わり、良好な信頼関係を築くとともに、他の教職員の指導・助言を受けながら適切に対応することができる。</p>	<p>初任者研修 (第 8、10 回) 教職 2～3 年次研修 (第 1、2 回))</p>
	<p>(ワーク・ライフ・バランス) ○業務の簡素化や効率化について、他の教職員との対話をととして業務改善を図り、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できる。</p>	<p>初任者研修 (第 1、2、11 回) 新規採用栄養教諭研修 (第 1 回) 新規採用養護教諭研修 (第 1 回)</p>
	<p>【教育課題への対応力】 (グローバル教育・郷土教育) ○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心をも身につける学習を展開することができる。</p>	<p>初任者研修 (第 14、15 回) 教職 2～3 年次研修 (第 4～7 回) M i e M u 活用講座 S D G s の視点で取り組む多文化共生教育の実践 学校で取り組む S D G s - 校庭の樹木の活用法 - 明日から始めよう、すぐできる、多文化共生教育のアイデア</p>
	<p>(キャリア教育) ○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につける学習を展開することができる。</p>	<p>初任者研修 (第 2、14、15 回) 教職 2～3 年次研修 (第 4～7 回) クラスで取り組むキャリア教育の進め方 専門高校訪問 1,2</p>

教職を担うにあたり必要とされる専門性

<p>(情報教育)</p> <p>○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開することができる。</p>	<p>【高校】三重県高等学校進路指導研修会（高・特） キャリア教育フォーラム（全）</p> <p>初任者研修（第2、5、8、11、14、15回） 教職2～3年次研修（第4～7回）</p> <p>プレゼンだけじゃない！校務効率化を目指すプレゼンソフト活用講座 校務効率化で時短をめざせ！表計算ソフト活用講座 1人1台端末での G Suite for Education 活用法 1人1台端末での授業支援ツール・ロイロノート活用法 1人1台端末環境で起きた児童・生徒間トラブルと情報モラル教育 なるほど！小学校プログラミング教育活用講座 1人1台端末活用講座 (小学校編、中学校編、高等学校編、特別支援学校編) 1人1台端末活用推進者育成研修 高等学校「情報I」担当教員研修（A、B） 三重大学教職大学院連携講座2 常勤講師等研修（第3回）</p>
<p>(人権教育)</p> <p>○人権教育基本方針を理解している。 ○児童生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、差別意識をなくそうとする態度や実践力を育む指導を他の教職員と相談しながら、展開することができる。</p>	<p>初任者研修（第1、12、14、15回） 新規採用栄養教諭研修（第1回） 新規採用養護教諭研修（第1回） 教職2～3年次研修（第4～7回）</p> <p>常勤講師等研修（第1、3回） 一緒に始めよう、考えよう、人権教育 誰もが自分らしく生きられる社会へ -多様な性の在り方- 未来を拓く人権教育 養護教諭職務推進研修3 【人権】人権教育推進委員会等代表者研修会（小・中） 地区別人権教育研修会（高・特） 「指導資料等」活用のための講座（全）</p>
<p>(特別支援教育)</p> <p>○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態を把握に基づく指導・支援を行うことができる。また、他の教職員と連携・協力しながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。</p>	<p>初任者研修（第3、11、13～15回） 新規採用栄養教諭研修（第2回） 新規採用養護教諭研修（第2回） 教職2～3年次研修（第4～7回）</p> <p>特別支援学級等新担当教員研修(第1回～第4回) 養護教諭職務推進研修2 教育相談ベーシック研修2、5 通常学級における特別な支援 合理的配慮に基づいた ICT 活用 困り感のある子への支援-姿勢や身体の動き- 特別支援教育基礎講座 医学一般研修（基本研修） 県立特別支援学校訪問 附属特別支援学校訪問 常勤講師等研修（第2、3回）</p> <p>【特支】 発達障がい専門研修（全）発達障がいエリア研修（全） 発達障がい支援研修（全） 高等学校特別支援教育コーディネーター会議・研修会（高） 特別支援学校医療的ケアスキルアップ研修会（特）</p>
<p>(外国人児童生徒教育)</p> <p>○日本語指導が必要な児童生徒に対して、適切な指導・支援を行うことができる。また、他の教職員と連携・協力しながら、多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。</p>	<p>初任者研修（第2、11、14、15回） 教職2～3年次研修（第4～7回）</p> <p>日本語指導を必要とする児童生徒への支援</p> <p>【小中】外国人児童生徒教育検討会議（小・中）</p>
<p>(いじめに関する事項)</p> <p>○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の発するサインを察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、他の教職員と連携・協力しながら組織的に取り組むことができる。</p>	<p>初任者研修（第3、14、15回） 新規採用養護教諭研修（第5回） 教職2～3年次研修（第4～7回）</p> <p>教育相談ベーシック研修2、4 常勤講師等研修（第3回）</p>
<p>(不登校に関する事項)</p> <p>○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより、不登校の初期段階での改善・解消に向け、他の教職員と連携・協力しながら組織的な対応をすることができる。</p>	<p>初任者研修（第3、14、15回） 新規採用養護教諭研修（第5回） 教職2～3年次研修（第4～7回）</p> <p>教育相談ベーシック研修2、3、6、7 養護教諭職務推進研修2 常勤講師等研修（第3回）</p>

	<p>(防災に関する事項)</p> <p>○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深めるとともに、危険を回避する方法を習得できるよう指導することができる。</p>	<p>初任者研修 (第 1、14、15 回)</p> <p>教職 2～3 年次研修 (第 4～7 回)</p> <p>新規採用栄養教諭研修 (第 1 回)</p> <p>新規採用養護教諭研修 (第 1 回)</p> <p>常勤講師等研修 (第 3 回)</p> <p>【総務】 学校防災リーダー等教職員研修 災害時学校支援チーム隊員育成研修</p>
--	--	--

養護教諭に必要な事項 (専門領域)

資質能力にかかる項目/求められる資質能力	対応する研修講座
<p>【保健管理】</p> <p>○児童生徒の心身の健康課題を把握し、教職員や関係機関と相談しながら対応できる。</p>	<p>新規採用養護教諭研修 (第 2～7、9、10、11 回)</p> <p>養護教諭職務推進研修 1～4</p> <p>常勤講師等研修 (第 2、3 回)</p>
<p>【保健教育】</p> <p>○児童生徒の実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、専門性を活かした保健教育ができる。</p>	<p>新規採用養護教諭研修 (第 3、8～10 回)</p> <p>養護教諭職務推進研修 1、3、4</p> <p>常勤講師等研修 (第 1、3 回)</p>
<p>【保健室経営】</p> <p>○学校教育目標をふまえ、児童生徒の心身の健康課題に応じた、保健室経営計画を作成し、計画に従って実践できる。</p>	<p>新規採用養護教諭研修 (第 5、6、9、10、11 回)</p> <p>養護教諭職務推進研修 3</p> <p>常勤講師等研修 (第 1 回)</p>
<p>【健康相談】</p> <p>○児童生徒の心身の健康課題を捉え、学校医等の専門職や保護者と連携を図りながら、適切な健康相談を実施することができる。</p> <p>○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。</p>	<p>新規採用養護教諭研修 (第 4～7、9～11 回)</p> <p>養護教諭職務推進研修 2～4</p> <p>常勤講師等研修 (第 3 回)</p>
<p>【保健組織活動】</p> <p>○校内の保健組織活動の企画、運営に参画できる。</p>	<p>新規採用養護教諭研修 (第 3、4、6～11 回)</p> <p>養護教諭職務推進研修 2～4</p>

栄養教諭に必要な事項 (専門領域)

	資質能力にかかる項目/求められる資質能力	対応する研修講座
給食管理	<p>【栄養管理 (献立作成)】</p> <p>○学校給食摂取基準に基づき、食事状況調査、嗜好調査、残食量調査等の結果をふまえた献立を作成することができる。</p>	<p>新規採用栄養教諭研修 (第 1～3、5、7、10、11 回)</p> <p>常勤講師等研修 (第 1、3 回)</p>
	<p>【衛生管理】</p> <p>○学校給食衛生管理基準に基づき、日常的に施設設備、食品を管理するとともに、調理従事者に対する適切な衛生管理ができる。</p>	<p>新規採用栄養教諭研修 (第 1～3、6、8、11 回)</p> <p>常勤講師等研修 (第 2 回)</p> <p>【保体】 学校給食の安全と充実に向けた講習会</p>
食に関する指導	<p>【給食の時間の指導】</p> <p>○給食の時間における食に関する指導のための資料を学級担任に提供し、連携して児童生徒への指導ができる。</p>	<p>新規採用栄養教諭研修 (第 1～3、10、11 回)</p> <p>学校給食栄養管理者研修</p> <p>【保体】 学校における食育ステップアップ講習会</p>
	<p>【教科等における指導】</p> <p>○学級担任と連携し、栄養教諭の専門性を活かした児童生徒への指導ができる。</p>	<p>新規採用栄養教諭研修 (第 1～4、9、11 回)</p> <p>学校給食栄養管理者研修</p> <p>常勤講師等研修 (第 3 回)</p>
	<p>【個別的な相談指導】</p> <p>○食に関する健康課題についての最新情報の収集に努め、児童生徒の課題とつなげ、医療機関等と連携を図りながら教職員とともに、児童生徒や保護者に対する指導・助言ができる。</p>	<p>新規採用栄養教諭研修 (第 1～3、7、10、11 回)</p> <p>学校給食栄養管理者研修</p> <p>学校給食関係職員研修</p> <p>常勤講師等研修 (第 3 回)</p>

2【第2ステージ：伸長期】教職経験6年次～10年次

知識や経験に基づいた実践力を高める

	資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
教職を担うにあたり必要とされる素養	【教育的愛情 使命感 責任感】 ○児童生徒への深い愛情と教職への誇り、強い使命感と責任感を持って、職務を遂行することができる。	教職6年次研修（第1回）
	【倫理観 コンプライアンス】 ○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底している。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を理解し、自らを厳しく律することができる。	教職6年次研修（第1回）
	【社会性 コミュニケーション力】 ○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築することができる。 ○相手の思いを受け止めるとともに、自分の考えを適切に伝えることができ、組織の一員として行動できる。	教職6年次研修（第1回）
	【学び続ける意欲 探究心】 ○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員と共に学び合い、職務の改善に活かすことができる。	教職6年次研修（第1回） 養護教諭6年次研修（第1回） 栄養教諭6年次研修（第1、5回）
教職を担うにあたり必要とされる専門性	【児童生徒理解】 ○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、カウンセリングスキルを活かして、一人ひとりに対する理解を深めることができる。	教職6年次研修（第1～5回） 養護教諭6年次研修（第2、4回） 特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） 養護教諭職務推進研修 2、3 教育相談ベーシック研修1～7 教育相談スキルアップ研修1～3 教育相談リーダー育成研修
	【授業力】 （授業計画） ○学習指導要領のねらいをふまえ、児童生徒の発達段階や習熟の程度に応じて創意工夫を凝らした授業づくりができる。 （授業実践） ○児童生徒の発達段階や習熟の程度に応じ、創意工夫を凝らした授業を実践し、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。 （授業改善） ○教科等の指導の工夫に努めるとともに、自らの授業を振り返り、他の教員と授業研究をする中で、継続した授業改善を図ることができる。	教職6年次研修（第2～5回） 栄養教諭6年次研修（第4回） 小学校国語授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 中学校国語授業づくり研修 中学校国語授業づくり研修 小中学校社会授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 小中学校算数・数学授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 小学校理科実験地域別研修 高校生物研修 小中学校理科授業づくり研修（1講義・協議、2実践） 図工・美術授業づくり研修1、2 中学校技術授業づくり研修 小学校体育授業づくり研修 中学校体育授業づくり研修 英語力アップ研修（中学校教員対象、高校教員対象） 外国語教育におけるICT活用研修 小学校英語 Small Talk 実践研修 小学校英語教育研修 小学校英語授業づくり研修1（講義・協議） 小学校英語授業づくり研修2（実践1、2） 中学校英語教育研修 中学校英語地域別研修 中学校英語授業づくり研修1（講義・協議） 中学校英語授業づくり研修2（実践1、2） 高校英語授業づくり研修1（講義・協議） 高校英語授業づくり研修2（実践1、2） 小学校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 中学校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 高校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 高校英語教育研修 小中学校道徳科授業づくり研修 N I E 講座－教育に新聞を－ 授業改善のための実践研修－県立学校の教科指導に関わる公開授業をとおして－ 授業研究推進リーダー育成研修 【学力】 授業改善研修会（小学校算数、中学校数学）（小・中） 授業改善研修会（小学校国語、中学校国語）（小・中） ICTを活用したわかる授業推進事業に係る全体会（小・中） 【小中】 道徳教育推進会議（小・中） 小学校英語教育研修（小） 中学校英語教育研修（中） 幼稚園教育研究協議会（小） 【高校】 外国語指導助手県内研修会（全） 外国語指導助手の指導力等向上研修（全） 外国語教育の充実を図るための研修会（高）

教職を担うにあたり必要とされる専門性

	<p>【保体】</p> <p>小学校元気アップ研修会（小・中） 中・高等学校元気アップ研修会（中・高・特） 元気アップブロック別協議会（全） 薬物乱用防止教室推進のための講習会（全） がん教育についての講習会（全） 学校給食の安全と充実に向けた講習会（小・中・特） 学校における食育ステップアップ講習会（全） 武道等指導力向上講習会（中・高・特） 運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特）</p>
<p>【生徒指導】</p> <p>○日常的に児童生徒の生活状況を把握し、必要な声掛け、指導を行い、信頼関係を築くとともに、問題行動等の早期発見、迅速な対応を組織的に行うことができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 養護教諭6年次研修（第2回） いじめをしない・させない心の育成に向けて アンガーマネジメントと言葉がけのスキル</p> <p>【生指】 小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） 高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）</p>
<p>【学校組織運営力】 （学級経営 学校運営への参画）</p> <p>○学校教育目標を理解して学級を経営するとともに、学校運営に積極的に関わり、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 学校組織マネジメントリーダー育成研修 授業研究推進リーダー育成研修（第1、2回） 共に学ぶ学級経営</p>
<p>（危機管理）</p> <p>○児童生徒の活動に際し、常に危機管理意識を持ち、周囲と相談・確認しながら、迅速かつ的確な安全確保対策を講じることができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 養護教諭6年次研修（第3回） 栄養教諭6年次研修（第3回） 養護教諭職務推進研修1</p> <p>【生指】 防犯教室講習会（中）交通安全教室講習会（小・高） 【総務】 学校危機管理専門研修会（全）</p>
<p>（チームワーク 人材育成）</p> <p>○主体的に職務を遂行するとともに、課題を共有できる環境づくりに努め、若手教員をサポートしながら学び合うことができる。</p>	<p>教職6年次研修（第2～5回） 栄養教諭6年次研修（第2～4回） 学校組織マネジメントリーダー育成研修 授業研究推進リーダー育成研修（第2～4回）</p>
<p>（家庭・地域社会・関係機関との連携と協働）</p> <p>○家庭や地域、関係機関と良好な信頼関係を築き、連携・協働した教育活動に取り組むことができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回）</p>
<p>（ワーク・ライフ・バランス）</p> <p>○業務の簡素化や効率化について、他の教職員との対話をとおして業務改善を図り、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回）</p>
<p>【教育課題への対応力】 （グローバル教育・郷土教育）</p> <p>○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開することができる。</p>	<p>M i e M u 活用講座 明日から始めよう、すぐできる、多文化共生教育のアイデア S D G s の視点で取り組む多文化共生教育の実践 学校で取り組む S D G s - 校庭の樹木の活用方法 - クラスで取り組むキャリア教育の進め方</p>
<p>（キャリア教育）</p> <p>○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につける学習を展開することができる。</p>	<p>【高校】 三重県高等学校進路指導研修会（高・特） キャリア教育フォーラム（全）</p>
<p>（情報教育）</p> <p>○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開することができる。</p>	<p>教職6年次研修（第3回） プレゼンだけじゃない！校務効率化を目指すプレゼンソフト活用講座 校務効率化で時短をめざせ！表計算ソフト活用講座 1人1台端末での G Suite for Education 活用法 1人1台端末での授業支援ツール・ロイロノート活用法 1人1台端末環境で起きた児童・生徒間トラブルと情報モラル教育 なるほど！小学校プログラミング教育活用講座 1人1台端末活用講座 （小学校編、中学校編、高等学校編、特別支援学校編） 1人1台端末活用推進者育成研修 高等学校「情報I」担当教員研修（A、B）</p>
<p>（人権教育）</p> <p>○児童生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、差別解消に向けて自ら考え、行動できる力を育む指導を他の教職員と連携しながら、展開することができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 養護教諭職務推進研修3 誰もが自分らしく生きられる社会へ - 多様な性の在り方 - 未来を拓く人権教育</p> <p>【人権】 人権教育推進委員会等代表者研修会（小・中） 地区別人権教育研修会（高・特） 「指導資料等」活用のための講座（全）</p>
<p>（特別支援教育）</p> <p>○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態を把握し、指導内容や指導方法を工夫して適切な指導・支援を行うことが</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 養護教諭6年次研修（第4回） 特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回）</p>

教職を担うにあたり必要とされる専門性	<p>できる。また、教職員間の共通理解を図りながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。</p>	<p>養護教諭職務推進研修2 教育相談ベーシック研修2、5 教育相談リーダー育成研修 通常学級における特別な支援 合理的配慮に基づいた ICT 活用 困り感のある子への支援－姿勢や身体の動き－ 特別支援教育基礎講座 医学一般研修（基本研修）</p> <p>【特支】 発達障がい専門研修（全） 発達障がいエリア研修（全） 発達障がい支援研修（全） 高等学校特別支援教育コーディネーター会議・研修会（高） 特別支援学校医療的ケアスキルアップ研修会（特）</p>
	<p>（外国人児童生徒教育） ○日本語指導が必要な児童生徒に対して、適切な指導・支援を行うことができる。また、教職員間の共通理解を図りながら、多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。</p>	<p>日本語指導を必要とする児童生徒への支援 外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成研修 ※教職員支援機構との連携講座</p> <p>【小中】外国人児童生徒教育検討会議（小・中）</p>
	<p>（いじめに関する事項） ○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の発するサインを察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、他の教職員と連携・協力しながら組織的に取り組むことができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 養護教諭6年次研修（第2回） 教育相談ベーシック研修2、4 教育相談リーダー育成研修</p>
	<p>（不登校に関する事項） ○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより、不登校の初期段階での改善・解消に向け、他の教職員と連携・協力しながら組織的な対応をすることができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回） 養護教諭6年次研修（第2、4回） 養護教諭職務推進研修2 教育相談ベーシック研修2、3、6、7 教育相談スキルアップ研修2、3 教育相談リーダー育成研修</p>
	<p>（防災に関する事項） ○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深めるとともに、危険を回避する方法を習得できるよう指導することができる。</p>	<p>教職6年次研修（第1回）</p> <p>【総務】学校防災リーダー等教職員研修 災害時学校支援チーム隊員育成研修</p>

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
<p>【保健管理】 ○児童生徒の心身の健康課題を的確に把握し、教職員や関係機関と連携して対応できる。</p>	<p>養護教諭6年次研修（第1～5回） 養護教諭職務推進研修 1～4</p>
<p>【保健教育】 ○児童生徒の心身の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を実践するとともに、自己の取組を評価し、改善を図ることができる。</p>	<p>養護教諭6年次研修（第5回） 養護教諭職務推進研修 1、3、4</p>
<p>【保健室経営】 ○学校教育目標をふまえ、他の教職員と連携し、組織的な保健室経営を行うことができる。</p>	<p>養護教諭6年次研修（第1～3、5回） 養護教諭職務推進研修 3</p>
<p>【健康相談】 ○児童生徒の心身の健康課題を的確に捉え、学校医等の専門職や保護者と連携し、校内の支援体制づくりができる。 ○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。</p>	<p>養護教諭6年次研修（第1～5回） 養護教諭職務推進研修 2～4</p>
<p>【保健組織活動】 ○校内の保健組織活動において、中心的な役割を担い、組織の活動の改善を図ることができる。</p>	<p>養護教諭6年次研修（第1、3、5回） 養護教諭職務推進研修 2～4</p>

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

	資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
給食管理	【栄養管理（献立作成）】 ○学校給食摂取基準に基づく栄養管理に加え、郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら、献立を作成することができる。	栄養教諭6年次研修（第1、2、5回）
	【衛生管理】 ○学校給食衛生管理基準についての理解を深め、日常的な衛生管理に加えて、学校給食の衛生管理について教職員に対して適切な指導・助言ができる。	栄養教諭6年次研修（第2、3、5回） 【保体】学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導	【給食の時間の指導】 ○給食と教科等との関連を考慮し、学級担任が年間をとおして食に関する指導が行えるよう支援するとともに、連携して児童生徒への指導ができる。	栄養教諭6年次研修（第1、2、5回） 学校給食栄養管理者研修 【保体】学校における食育ステップアップ講習会
	【教科等における指導】 ○学校教育目標や地域性をふまえ、栄養教諭の専門性を活かして、家庭・地域と連携した食育を推進することができる。	栄養教諭6年次研修（第1、2、4、5回） 学校給食栄養管理者研修
	【個別的な相談指導】 ○食に関する健康課題についての最新情報の収集に努め、児童生徒の課題とつなげ、医療機関等と連携を図りながら教職員とともに、児童生徒や保護者に対する指導・助言ができる。	第1回栄養教諭6年次研修（第1、2、5回） 学校給食栄養管理者研修 学校給食関係職員研修

3【第3ステージ：充実期】教職経験11年次～20年次

多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う

	資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
教職を担うに必要とされる素養	【教育的愛情 使命感 責任感】 ○児童生徒への深い愛情と教職への誇り、強い使命感と責任感を持って、職務を遂行するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
	【倫理観 コンプライアンス】 ○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を自覚し、自らを厳しく律するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
	【社会性 コミュニケーション力】 ○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。 ○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織づくりに貢献できる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
	【学び続ける意欲 探究心】 ○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校組織の中で「教職員を育てる文化」の醸成に寄与することができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、6回） 中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、6回） 新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
教職を担うに必要とされる専門性	【児童生徒理解】 ○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、教職員同士をつなげ、個に応じた問題解決への道筋を助言する等、適切に対応することができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2～6回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） 特別支援学級等新担当教員研修（第1～4回） 養護教諭職務推進研修2、3 教育相談ベーシック研修6、7 教育相談スキルアップ研修1～3 教育相談リーダー育成研修 ケース・カンファレンス（第1～3回）
	【授業力】 （授業計画） ○高い専門性を身につけ、創意工夫を凝らした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。また、若手教員の指導上の課題を捉え、例示しながら適切な指導・助言ができる。 ●高い専門性を活かした授業づくりを行うとともに、効果的な指導資料の提示・共有を図り、適切な指導・助言をとおして自校のみならず、地域内の教員の授業力向上に向けても、指導・助言ができる。 （授業実践） ○高い専門性を身につけ、創意工夫を凝らした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。また、若手教員の指導上の課題を捉え、例示しながら適切な指導・助言ができる。 ●授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、他の教員の模範となる授業を自ら実践して積極的に公開するとともに、教員一人ひとりに応じた指導・助言ができる。 （授業改善） ○高い専門性を身につけ、豊かな経験を活かして、中核となつて継続的に授業改善を図るとともに、若手教員の指導方法について改善につながる適切な指導・助言ができる。 ●指導力向上に向けた研修会等において、高い専門性を活かし、指導力や技術力向上のための適切な指導・助言ができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第3～6回） 中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第3、5回） 小学校国語授業づくり研修3（発展）中学校国語授業づくり研修 小学校社会授業づくり研修－くらしの道具を活用して－ 小学校算数授業づくり研修（発展） 小学校理科スキルアップ研修 中学校理科スキルアップ研修 高校生物研修 図工・美術授業づくり研修1、2 中学校技術授業づくり研修 小学校体育授業づくり研修 中学校体育授業づくり研修 英語力アップ研修（中学校教員対象、高校教員対象） 外国語教育におけるICT活用研修 小学校英語 Small Talk 実践研修 小学校英語教育研修 小学校英語授業づくり研修2（実践2） 中学校英語教育研修 中学校英語地域別研修 中学校英語授業づくり研修2（実践2） 高校英語授業づくり研修2（実践2） 小学校英語 指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 中学校英語－指導と評価に係る研修（1講義・協議、2実践） 高校英語－指導と評価に係る研修1（1講義・協議、2実践） 高校英語教育研修 小中学校道徳科授業づくり研修 N I E 講座－教育に新聞を－ 授業改善のための実践研修－県立学校の教科指導に関わる公開授業をとおして－ 授業研究推進リーダー育成研修 ●指導教諭 新任指導教諭研修（第1、2回） 職務・職能指導教諭研修 【学力】 授業改善研修会（小学校算数、中学校数学）（小・中） 授業改善研修会（小学校国語、中学校国語）（小・中）

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

教職を担うにあたり必要とされる専門性		ICTを活用したわかる授業推進事業に係る全体会（小・中） 【小中】 道徳教育推進会議（小・中） 小学校英語教育研修（小） 中学校英語教育研修（中） 幼稚園教育研究協議会（小） 【高校】 外国語指導助手県内研修会（全） 外国語指導助手の指導力等向上研修（全） 外国語教育の充実を図るための研修会（高） 【保体】 小学校元気アップ研修会（小・中） 中・高等学校元気アップ研修会（中・高・特） 元気アップブロック別協議会（全） 薬物乱用防止教室推進のための講習会（全） がん教育についての講習会（全） 学校給食の安全と充実に向けた講習会（小・中・特） 学校における食育ステップアップ講習会（全） 武道等指導力向上講習会（中・高・特） 運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特）
	【生徒指導】 ○児童生徒の生活状況や心情を理解し、信頼関係を築きながら、必要な個別指導や集団指導を行うことができる。また、問題行動等の背景や原因を的確に把握して、適切な指導を組織的・系統的に行うことができる。 ○若手教員が抱える生徒指導上の諸課題について、適切な指導・助言ができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2回） いじめをしない・させない心の育成に向けて アンガーマネジメントと言葉がけのスキル 【生指】 小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） 高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）
	【学校組織運営力】 （学級経営 学校運営への参画） ○学校教育目標の達成や学校の課題解決のため、学級経営や学校運営に積極的に参画することができる。また、若手教員が抱える学級経営上の課題に気づき、適切な指導・助言を行い、学校全体の教育活動の活性化に寄与することができる。 ■校長の経営方針をふまえ、各分掌における課題について解決策を提案し、適切な学校運営に中心的に参画することができる。	学校組織マネジメントリーダー育成研修 授業研究推進リーダー育成研修（第1、2回） ■主幹教諭 新任主幹教諭研修（第1、2回）
	（危機管理） ○危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応に努め、学校全体の安全・防災について中心的な役割を担うことができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第3、5回） 中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） 新任主幹教諭研修（第1回） 養護教諭職務推進研修1 【生指】 防犯教室講習会（中）交通安全教室講習会（小・高） 【総務】 学校危機管理専門研修会（全）
	（チームワーク 人材育成） ○教育活動が組織的に行われるよう、教職員が互いに学び合い、支え合う環境づくりの中核的役割を担うことができる。 ●自校を中心に、授業観察を通じた指導・助言や個別相談を行う等、教職員を指導・育成することができる。 ■学校全体の課題解決に有効な企画を管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2～6回） 中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第2、4、5回） 職務・職能指導教諭研修 学校組織マネジメントリーダー育成研修 授業研究推進リーダー育成研修（第2～4回） ●指導教諭 新任指導教諭研修（第1、2回） ■主幹教諭 新任主幹教諭研修（第1、2回）
	（家庭・地域社会・関係機関との連携と協働） ○家庭や地域、関係機関との信頼関係を深め、連携・協働した教育活動を企画・立案することができる。	新任主幹教諭研修（第1回）
	（ワーク・ライブ・バランス） ○業務の簡素化や効率化を図るための教職員間の対話を促進し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できるよう教職員が協力し合える組織風土づくりに寄与することができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 新任主幹教諭研修（第1回）
	【教育課題への対応力】 （グローバル教育・郷土教育） ○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開するとともに、指導方法について若手教員に適切な指導・助言ができる。	M i e M u 活用講座

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

教職を担うにあたり必要とされる専門性	(キャリア教育) ○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制を整備し、指導方法について若手教員に適切な指導・助言ができる。	クラスで取り組むキャリア教育の進め方 【高校】三重県高等学校進路指導研究会（高・特） キャリア教育フォーラム（全）
	(情報教育) ○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについての理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） プレゼンだけじゃない！校務効率化を目指すプレゼンソフト活用講座 校務効率化で時短をめざせ！表計算ソフト活用講座 1人1台端末での G Suite for Education 活用法 1人1台端末での授業支援ツール・ロイノート活用法 1人1台端末環境で起きた児童・生徒間トラブルと情報モラル教育 なるほど！小学校プログラミング教育活用講座 1人1台端末活用講座 （小学校編、中学校編、高等学校編、特別支援学校編） 1人1台端末活用推進者育成研修 教員 ICT 活用指導力向上講習会 高等学校「情報Ⅰ」担当教員研修（A、B）
	(人権教育) ○人権教育推進計画に基づく取組を系統的・日常的に実践するとともに、解決すべき課題や指導のねらいを明らかにして、若手教員に適切な指導・助言ができる。	養護教諭職務推進研修3 未来を拓く人権教育 【人権】人権教育推進委員会等代表者研修会（小・中） 地区別人権教育研修会（高・特） 「指導資料等」活用のための講座（全）
	(特別支援教育) ○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態に応じた指導・支援を、地域や関係機関と連携し、適切に行うことができる。また、教職員間の共通理解を深めながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） 特別支援学級等新担当教員研修(第1～4回) 養護教諭職務推進研修2 教育相談リーダー育成研修 合理的配慮に基づいた ICT 活用 特別支援教育基礎講座 医学一般研修（基本研修） 【特支】 発達障がい専門研修（全） 発達障がいエリア研修（全） 発達障がい支援研修（全） 高等学校特別支援教育コーディネーター会議・研修会（高） 特別支援学校医療的ケアスキルアップ研修会（特）
	(外国人児童生徒教育) ○日本語指導が必要な児童生徒に対して、地域や関係機関と連携しながら、適切な指導・支援を行うことができる。また、多文化共生に係る見識を深め、学校全体の取組において中心的な役割を果たすことができる。	外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成研修 ※教職員支援機構との連携講座 【小中】外国人児童生徒教育検討会議（小・中）
	(いじめに関する事項) ○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職と連携し、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、組織的に取り組むことができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2回） 教育相談リーダー育成研修 ケース・カンファレンス(第1～3回)
	(不登校に関する事項) ○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより児童生徒の実態を把握し、不登校の初期段階での改善・解消に向け、保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に適切な指導・助言を行い、組織的な対応をすることができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第2回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第4回） 養護教諭職務推進研修2 教育相談ベーシック研修6、7 教育相談スキルアップ研修2、3 教育相談リーダー育成研修 ケース・カンファレンス(第1～3回)
	(防災に関する事項) ○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して指導することができる。	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ（第1回） 中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第5回） 【総務】学校防災リーダー等教職員研修 災害時学校支援チーム隊員育成研修

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
【保健管理】 ○保健管理にかかる高い専門性を身につけ、児童生徒の心身の健康課題の解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～6回） 養護教諭職務推進研修1～4
【保健教育】 ○組織的な保健教育を推進するために、教職員や地域など校外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第2、5、6回） 養護教諭職務推進研修1、3、4
【保健室経営】 ○学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画に従って実践するとともに、自己評価を行い、改善を図ることができる。	中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～3、5、6回） 養護教諭職務推進研修3
【健康相談】 ○健康相談にかかる高い専門性を身につけ、児童生徒の支援体制の充実を図るために、教職員や地域など校外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。 ○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第2～4回） 養護教諭職務推進研修2～4
【保健組織活動】 ○保健組織活動を地域ぐるみの取組につなげるため、近隣の学校や関係機関との連携を図ることができる。	中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～3、5、6回） 養護教諭職務推進研修2～4

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
給食管理 【栄養管理（献立作成）】 ○栄養教諭の専門性を活かして、児童生徒の身体状況を考慮し、地域性に応じた献立作成及び栄養管理ができる。	中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、6回）
【衛生管理】 ○衛生管理に関する高い専門性を身につけ、日常的に適切な衛生管理を行うとともに、食品納入業者等、地域の学校給食関係者に対しても必要な指導・助言ができる。	中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第2、4、6回） 【保体】学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導 【給食の時間の指導】 ○学級担任が献立計画を活用し、教科等と関連させた食に関する指導を継続的に行えるよう支援するとともに、食に関する年間指導計画を中心となって策定することができる。	中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、6回） 学校給食栄養管理者研修 【保体】学校における食育ステップアップ講習会
【教科等における指導】 ○栄養教諭の専門性を活かし、教職員や地域など校外の連携における食育推進のコーディネーターとしての役割を担うことができる。	中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1～3、5、6回） 学校給食栄養管理者研修
【個別的な相談指導】 ○児童生徒の食に関する健康課題を総合的に判断し、児童生徒の課題に応じて医療機関等と連携を図りながら指導・助言をするとともに、栄養教諭の専門性を活かして教職員に対しても指導的役割を担うことができる。	中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ（第1、2、6回） 学校給食栄養管理者研修 学校給食関係職員研修

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

4【第4ステージ：発展期】教職経験21年次以降

高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする

	資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
教職を担うにあたり必要とされる素養	【教育的愛情 使命感 責任感】 ○児童生徒への深い愛情と教職への誇り、強い使命感と責任感を持って、職務を遂行するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。	新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
	【倫理観 コンプライアンス】 ○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を自覚し、自らを厳しく律するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。	新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
	【社会性 コミュニケーション力】 ○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。 ○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織づくりに貢献できる。	新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
	【学び続ける意欲 探究心】 ○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校組織の中で「教職員を育てる文化」の醸成に寄与することができる。	新任主幹教諭研修（第1回） 新任指導教諭研修（第1回）
教職を担うにあたり必要とされる専門性	【児童生徒理解】 ○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、個に応じた指導方針を立て、他の教職員に指導・助言を行いながら、適切に対応することができる。	特別支援学級等新担当教員研修(第1～4回) 養護教諭職務推進研修2、3 教育相談ベーシック研修6、7 教育相談リーダー育成研修 ケース・カンファレンス(第1～3回)
	【授業力】 (授業計画) ○高い専門性と豊かな経験を活かした授業づくりを行うとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を活かした指導計画について、他の教員に適切な指導・助言ができる。 ●高い専門性を活かした授業づくりを行うとともに、効果的な指導資料の提示・共有を図り、適切な指導・助言をとおして自校のみならず、地域内の教員の授業力向上に向けても、指導・助言ができる。 (授業実践) ○高い専門性と豊かな経験を活かした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。また、他の教員の意欲を引き出しながら授業展開について適切な指導・助言ができる。 ●授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、他の教員の模範となる授業を自ら実践して積極的に公開するとともに、教員一人ひとりに応じた指導・助言ができる。 (授業改善) ○高い専門性と豊かな経験を活かして、組織的・継続的な授業改善を図るとともに、指導方法について研究し、他の教員の指導の改善につながる適切な指導・助言ができる。 ●指導力向上に向けた研修会等において、高い専門性を活かし、指導力や技術力向上のための適切な指導・助言ができる。	小学校国語授業づくり研修3(発展)中学校国語授業づくり研修 小学校社会授業づくり研修-くらしの道具を活用して- 小学校算数授業づくり研修(発展) 小学校理科スキルアップ研修 中学校理科スキルアップ研修 高校生物研修 図工・美術授業づくり研修1、2 中学校技術授業づくり研修 小学校体育授業づくり研修 中学校体育授業づくり研修 英語力アップ研修(中学校教員対象、高校教員対象) 外国語教育におけるICT活用研修 小学校英語 Small Talk 実践研修 小学校英語教育研修 小学校英語授業づくり研修2(実践2) 中学校英語教育研修 中学校英語地域別研修 中学校英語授業づくり研修2(実践2) 高校英語授業づくり研修2(実践2) 高校英語教育研修 小学校英語 指導と評価に係る研修(1講義・協議、2実践) 中学校英語 指導と評価に係る研修(1講義・協議、2実践) 高校英語 指導と評価に係る研修(1講義・協議、2実践) 小中学校道徳科授業づくり研修 NIE講座-教育に新聞を- 授業改善のための実践研修-県立学校の教科指導に関わる公開授業をとおして- 授業研究推進リーダー育成研修 ●指導教諭 新任指導教諭研修(第1、2回) 職務・職能指導教諭研修 【学力】 授業改善研修会(小学校算数、中学校数学)(小・中) 授業改善研修会(小学校国語、中学校国語)(小・中) ICTを活用したわかる授業推進事業に係る全体会(小・中) 【小中】 道徳教育推進会議(小・中)小学校英語教育研修(小) 中学校英語教育研修(中)幼稚園教育研究協議会(小) 【高校】 外国語指導助手県内研修会(全)

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

教職を担うに当たり必要とされる専門性		外国語指導助手の指導力等向上研修（全） 外国語教育の充実を図るための研修会（高） 【保体】 小学校元気アップ研修会（小・中） 中・高等学校元気アップ研修会（中・高・特） 元気アップブロック別協議会（全） 薬物乱用防止教室推進のための講習会（全） がん教育についての講習会（全） 学校給食の安全と充実に向けた講習会（小・中・特） 学校における食育ステップアップ講習会（全） 武道等指導力向上講習会（中・高・特） 運動部活動指導者スキルアップ研修会（中・高・特）
	【生徒指導】 ○児童生徒の生活状況や心情を理解し、問題行動等の背景・原因を的確に把握して必要な指導を行うことができる。また、生徒指導上の問題解決に向け具体的な方策を立て、組織的・系統的に取り組むことができる。 ○他の教員が抱える生徒指導上の諸課題について、適切な指導・助言ができる。	いじめをしない・させない心の育成に向けて アンガーマネジメントと言葉かけのスキル 【生指】 小中学校生徒指導担当者講習会（小・中） 高等学校生徒指導主事等研修会（高・特）
	【学校組織運営力】 （学級経営 学校運営への参画） ○学校教育目標の達成や学校の課題解決のために、管理職と協議し、学級経営や学校運営に関して他の教職員に適切な指導や助言を行う等、先導的な役割を果たすことができる。 ■校長の経営方針をふまえ、各分掌における課題について解決策を提案し、適切な学校運営に中心的に参画することができる。	学校組織マネジメントリーダー育成研修 授業研究推進リーダー育成研修（第1、2回） ■主幹教諭 新任主幹教諭研修（第1、2回）
	（危機管理） ○危機の未然防止のための学校環境の必要な改善及び事故の再発防止の取組を提案できる。	新任主幹教諭研修（第1回） 養護教諭職務推進研修 1 【生指】 防犯教室講習会（中） 交通安全教室講習会（小・高） 【総務】 学校危機管理専門研修会（全）
	（チームワーク 人材育成） ○教育活動が組織的に行われるよう、豊かな経験を活かし、互いに学び合い、支え合う教職員集団づくりを中心に行うことができる。 ●自校を中心に、授業観察を通じた指導・助言や個別相談を行う等、教職員を指導・育成することができる。 ■学校全体の課題解決に有効な企画を管理職に提案し、教職員を指導・育成することができる。	学校組織マネジメントリーダー育成研修 授業研究推進リーダー育成研修（第2～4回） ●指導教諭 新任指導教諭研修（第1,2回） 職務・職能指導教諭研修 ■主幹教諭 新任主幹教諭研修（第1,2回）
	（家庭・地域社会・関係機関との連携と協働） ○家庭や地域、関係機関との調整役を果たすとともに、情報発信を行う等、連携・協働した教育活動の具体的な取組を組織的に推進することができる。	新任主幹教諭研修（第1回）
	（ワーク・ライフ・バランス） ○業務の簡素化や効率化を図るための教職員間の対話を促進し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できるよう教職員が協力し合える組織風土づくりに寄与することができる。	新任主幹教諭研修（第1回）
	【教育課題への対応力】 （グローバル教育・郷土教育） ○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開し、学校全体の取組において、指導的な役割を果たすことができる。	M i e M u 活用講座
	（キャリア教育） ○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制や実践を支える運営体制を整備することができる。	【高校】 三重県高等学校進路指導研修会（高・特） キャリア教育フォーラム（全）
（情報教育） ○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについての理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	プレゼンだけじゃない！校務効率化を目指すプレゼンソフト活用講座校務効率化で時短をめざせ！表計算ソフト活用講座 1人1台端末での G Suite for Education 活用法 1人1台端末での授業支援ツール・ロイロノート活用法 1人1台端末環境で起きた児童・生徒間トラブルと情報モラル教育 なるほど！小学校プログラミング教育活用講座 1人1台端末活用講座 （小学校編、中学校編、高等学校編、特別支援学校編） 1人1台端末活用推進者育成研修 教員 ICT 活用指導力向上講習会 高等学校「情報 I」担当教員研修（A、B）	

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

教職を担うにあたり必要とされる専門性	(人権教育) ○児童生徒の実態に合わせた能動的な人権学習を構築し、解決すべき課題や指導のねらいを明らかにした全体計画の立て方等について、他の教職員に適切な指導・助言ができる。	養護教諭職務推進研修3 未来を拓く人権教育 【人権】人権教育推進委員会等代表者研修会（小・中） 地区別人権教育研修会（高・特） 「指導資料等」活用のための講座（全）
	(特別支援教育) ○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態に応じた指導・支援を、地域や関係機関と連携し、適切に行うことができる。また、他の教職員に指導・助言しながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を組織的に実践することができる。	特別支援学級等新担当教員研修(第1～4回) 養護教諭職務推進研修2 教育相談リーダー育成研修 合理的配慮に基づいたICT活用 特別支援教育基礎講座 医学一般研修（基本研修） 【特支】 高等学校特別支援教育コーディネーター会議・研修会（高） 特別支援学校医療的ケアスキルアップ研修会（特） 発達障がい支援アドバイザー養成研修（小・中・特）
	(外国人児童生徒教育) ○日本語指導が必要な児童生徒に対して、地域や関係機関と連携し、適切な指導・支援を行うことができる。また、多文化共生に係る学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成研修 ※教職員支援機構との連携講座 【小中】外国人児童生徒教育検討会議（小・中）
	(いじめに関する事項) ○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職と連携し、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、組織的に取り組むことができる。	教育相談リーダー育成研修 ケース・カンファレンス(第1～3回)
	(不登校に関する事項) ○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより児童生徒の実態を把握し、不登校の初期段階での改善・解消に向け、保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に適切な指導・助言を行い、組織的な対応をすることができる。	養護教諭職務推進研修2 教育相談ベーシック研修6、7 教育相談リーダー育成研修 ケース・カンファレンス(第1～3回)
	(防災に関する事項) ○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して指導することができる。	【総務】学校防災リーダー等教職員研修 災害時学校支援チーム隊員育成研修

養護教諭に必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目/求められる資質能力	対応する研修講座
【保健管理】 ○保健管理にかかる高い専門性を活かし、学校、家庭、地域、関係機関を連携させて、的確に対応する組織づくりができる。	養護教諭職務推進研修1～4
【保健教育】 ○教職員や地域など校外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、養護教諭の視点を活かして他の教職員の実践に対し、指導・助言を行うことができる。	養護教諭職務推進研修1、3、4
【保健室経営】 ○学校教育目標の実現に向け、保健室経営から得られる情報を校外に発信することをとおして、教育活動全体の充実を図る取組に参画することができる。	養護教諭職務推進研修3
【健康相談】 ○教職員や地域など校外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、校外の関係機関を含めた児童生徒の支援体制づくりができる。 ○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切対応ができる。	養護教諭職務推進研修2～4
【保健組織活動】 ○広域的な保健組織活動の活性化に向けて、他の教職員や保護者、関係機関に対し、指導的役割を担うことができる。	養護教諭職務推進研修2～4

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

栄養教諭に必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目／求められる資質能力		対応する研修講座
給食管理	【栄養管理（献立作成）】 ○栄養管理や献立作成に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。	
	【衛生管理】 ○学校給食における衛生管理に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。	【保体】学校給食の安全と充実に向けた講習会
食に関する指導	【給食の時間の指導】 ○学級担任が献立計画や食に関する年間指導計画に基づいて、教科等と関連させた指導を継続的・効果的に行うための指導・助言ができる。	学校給食栄養管理者研修 【保体】学校における食育ステップアップ講習会
	【教科等における指導】 ○地域において、校種毎の学習内容に応じた系統的な食育を推進するためのコーディネーターとなり、連携・調整を行うとともに、他の栄養教諭に対し、指導・助言ができる。	学校給食栄養管理者研修
	【個別的な相談指導】 ○児童生徒の食に関する健康課題を総合的に判断し、児童生徒の課題に応じて医療機関等と連携を図りながら指導・助言をするとともに、栄養教諭の専門性を活かして教職員に対しても指導的役割を担うことができる。	学校給食栄養管理者研修 学校給食関係職員研修

●：指導教諭の「求められる資質能力」

■：主幹教諭の「求められる資質能力」

5【教頭・准校長：マネジメント力の向上】

校長を補佐し、管理職として教職員をとりまとめ、
豊かな教職経験を活かして適切に学校経営を行う

	資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
教職を担うにあたり必要とされる素養	【教育的愛情 使命感 責任感】 ○児童生徒への深い愛情と、教職への誇りを持って、児童生徒の教育にあたるとともに、教職員の行動の模範となることができる。また、強い使命感と責任感を持って、学校運営にあたることができる。	新任教頭研修（第1回）
	【倫理観 コンプライアンス】 ○高い倫理観を持ち、コンプライアンスを常に意識して自らを厳しく律し、児童生徒や教職員の模範となる行動をとることにより、信頼される学校づくりを進めることができる。	新任教頭研修（第1,2回） 管理職のためのスクール・コンプライアンス研修
	【社会性 コミュニケーション力】 ○高い人権感覚を有し、保護者をはじめとした関係者、関係機関と誠意を持って対話し、信頼関係を築くことができる。また、情報共有を大切にして、教職員との信頼関係を深め、人間関係が円滑で働きやすい職場づくりを進めることができる。	
	【学び続ける意欲 探究心】 ○管理職として高い見識と広い視野を持ち、常に自分の姿を振り返りながら、自らの力量を高めるために継続的に研究や研鑽に励むことができる。	新任教頭研修（第3回）
管理職として必要とされるマネジメント力	【教員の指導力向上】 ○校長が示すカリキュラム・マネジメントに基づく方針を理解し、校内研修を企画・運営する等、教員の指導力向上・授業改善の取組を組織的かつ計画的に推進するとともに、教員に授業改善に向けた適切な指導・助言ができる。	新任教頭研修（第1回） 【学力】 授業改善研修会（小学校算数、中学校数学）（小・中） 授業改善研修会（小学校国語、中学校国語）（小・中） ICTを活用したわかる授業推進事業に係る全体会（小・中） 【小中】 幼稚園教育研究協議会（小） 【保体】 元気アップブロック別協議会（全） 薬物乱用防止教室推進のための講習会（全） がん教育についての講習会（全） 学校給食の安全と充実に向けた講習会（小・中・特） 学校における食育ステップアップ講習会（全）
	【学校組織運営力】 （学校経営） ○校長が示す学校経営方針や学校教育目標の達成に向けて教職員が一丸となって取り組むことができるよう校内組織をまとめ、教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。	新任教頭研修（第1、3、4回） 教頭のためのトップマネジメント研修
	（危機管理） ○学校を取り巻く危機管理について、家庭や地域、関係機関と連携し、危機発生時には、児童生徒の安全確保を最優先して、対応方針に沿って主体的に対応するとともに、教職員に的確な指示をすることができる。	新任教頭研修（第1、3回） 【総務】 学校危機管理専門研修会（全）
	（チームワーク 人材育成） ○教職員の能力や適性を的確に把握し、個々の特性を活かしながら、その伸長をはかるとともに、対話によって信頼関係を深め、チームとして機能するよう学校の体制を整えることができる。	新任教頭研修（第1、3、4回） 教頭のためのトップマネジメント研修
	（家庭・地域社会・関係機関との連携と協働） ○地域とのつながりを深め、家庭、地域社会、関係機関の要望を的確に把握し、連携・協力を得ながら、自校の教育活動を進めることができる。	新任教頭研修（第1、3回）
	（ワーク・ライフ・バランス） ○ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、心身ともに健康で誇りとやりがいを持って職務に専念できるよう、教職員の勤務時間や勤務状況等を把握し、必要に応じて相談に応じるとともに、適切な指導・助言ができる。	新任教頭研修（第1、3回）
	【教育課題への対応力】 （グローバル教育・郷土教育） ○児童生徒に豊かな国際感覚や郷土に対する愛着と誇りを育む教育活動を、学校の教育目標に沿って教職員が組織的に展開できるよう、適切な指導・助言ができる。	新任教頭研修（第5回）

管理職として必要とされるマネジメント力	<p>(キャリア教育)</p> <p>○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、学校のキャリア教育の目標に沿って、保護者や地域、関係機関との連携を図りながら、教職員が組織的に取り組むことができるよう、適切な指導・助言ができる。</p>	<p>新任教頭研修（第5回）</p>
	<p>(情報教育)</p> <p>○児童生徒に、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成するとともに、ICTを活用した効果的な指導が学校全体として進められるよう、教職員に必要な指導・助言をすることができる。</p>	<p>新任教頭研修（第5回）</p>
	<p>(人権教育)</p> <p>○児童生徒が人権について正しい理解と認識を深め、偏見や差別をなくしていこうとする態度を身につけるため、地域と連携して教職員が人権教育を組織的かつ系統的に進めていけるよう、適切な指導・助言ができる。</p>	<p>新任教頭研修（第5回） 未来を拓く人権教育</p> <p>【人権】人権教育推進委員会等代表者研修会（小・中） 地区別人権教育研修会（高・特） 「指導資料等」活用のための講座（全）</p>
	<p>(特別支援教育)</p> <p>○全ての教職員が特別な支援を必要とする児童生徒への対応について見識を深めることができるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。また、自校の状況を的確に把握し、保護者や地域、関係機関と連携するとともに、必要な支援等が組織的に行われるよう、教育体制を整えることができる。</p>	<p>新任教頭研修（第5回）</p> <p>【特支】特別支援学校新学習指導要領説明会（特）</p>
	<p>(外国人児童生徒教育)</p> <p>○全ての教職員が日本語指導が必要な児童生徒への対応や多文化共生について見識を深めることができるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。また、自校の状況を的確に把握し、保護者や地域ボランティア、関係機関等と連携を図り、必要な支援等が組織的に行われるよう、教育体制を整えることができる。</p>	<p>新任教頭研修（第5回） 外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成研修 ※教職員支援機構との連携講座</p> <p>【小中】外国人児童生徒教育検討会議（小・中）</p>
	<p>(いじめに関する事項)</p> <p>○いじめの防止及び早期発見・早期解決を図るため、学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者や地域、関係機関等と連携して、組織的に対応することができるよう教職員をまとめることができる。また、いじめ事案が発生した際には、対応方針に沿って、問題解決に向けて組織的に対応できるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	<p>新任教頭研修（第1回）</p>
	<p>(不登校に関する事項)</p> <p>○不登校及び不登校傾向の児童生徒に対する深い見識を持ち、児童生徒や保護者に対する必要な支援や関係機関等との連携を行いながら、的確な対応ができるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	<p>新任教頭研修（第1回）</p>
	<p>(防災に関する事項)</p> <p>○児童生徒が防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を身につけられるよう、自校の方針に沿って、保護者や地域、関係機関と連携しながら自校の防災教育を組織的な取組として進めるとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	<p>新任教頭研修（第2回） 災害時における管理職のリーダーシップ研修 【総務】学校防災リーダー等教職員研修</p>

6 【校長：マネジメント力の発揮】

教育者として高い見識を持ち、学校のリーダーとして
幅広い視野で学校経営を行う

	資質能力にかかる項目／求められる資質能力	対応する研修講座
教職を担うにあたり必要とされる素養	【教育的愛情 使命感 責任感】 ○児童生徒への深い愛情と、教職への誇りを持って、児童生徒の教育にあたるとともに、教職員の行動の模範となることができる。また、強い使命感と責任感を持って、学校運営にあたることことができる。	新任校長研修（第1回）
	【倫理観 コンプライアンス】 ○高い倫理観を持ち、コンプライアンスを常に意識して自らを厳しく律し、児童生徒や教職員の模範となる行動をとることにより、信頼される学校づくりを進めることができる。	新任校長研修（第1回） 管理職のためのスクールコンプライアンス研修
	【社会性 コミュニケーション力】 ○高い人権感覚を有し、保護者をはじめとした関係者、関係機関と誠意を持って対話し、信頼関係を築くことができる。また、情報共有を大切にして、教職員との信頼関係を深め、人間関係が円滑で働きやすい職場づくりを進めることができる。	
	【学び続ける意欲 探究心】 ○管理職として高い見識と広い視野を持ち、常に自分の姿を振り返りながら、自らの力量を高めるために継続的に研究や研鑽に励むことができる。	新任校長研修（第2回）
管理職として必要とされるマネジメント力	【教員の指導力向上】 ○学習指導要領等の理念の実現に向け、児童生徒の姿や地域の実情をふまえたカリキュラム・マネジメントを適切に行い、教員の指導力向上・授業改善の取組を組織的かつ計画的に推進するとともに、教員に授業改善に向けた適切な指導・助言ができる。	新任校長研修（第1、2回） 【学力】 授業改善研修会（小学校算数、中学校数学）（小・中） 授業改善研修会（小学校国語、中学校国語）（小・中） ICTを活用したわかる授業推進事業に係る全体会（小・中） 【小中】 幼稚園教育研究協議会（小） 【保体】 元気アップブロック別協議会（全） 薬物乱用防止教室推進のための講習会（全） がん教育についての講習会（全） 学校給食の安全と充実に向けた講習会（小・中・特） 学校における食育ステップアップ講習会（全）
	【学校組織運営力】 (学校経営) ○地域の特性や学校へ寄せられる期待等をふまえて、学校経営にかかる課題を的確に把握して学校経営方針や学校教育目標を設定し、その達成に向けて組織的に継続して取り組むことができる。	新任校長研修（第1～4回） 校長のためのトップマネジメント研修 学校組織マネジメント研修Ⅰ 三重の教育談義
	(危機管理) ○学校にかかる危機を想定して、日常から未然防止の対策を講じるとともに、危機発生時には対応方針を明確に示し、迅速かつ組織的に対応できる。	新任校長研修（第1回） 【総務】 学校危機管理専門研修会（全）
	(チームワーク 人材育成) ○教職員の能力や適性を的確に把握し、必要な指導と支援によりその伸長をはかり、教職員が信頼関係を深め、チームとして機能する学校の体制を構築することができる。	新任校長研修（第1、3、4回） 校長のためのトップマネジメント研修 学校組織マネジメント研修Ⅰ 三重の教育談義
	(家庭・地域社会・関係機関との連携と協働) ○家庭、地域社会、関係機関との信頼関係を築き、積極的に外部人材を活用する等、関係者の協力を得ながら自校の教育活動に必要な体制を構築することができる。	新任校長研修（第1、2回）
	(ワーク・ライフ・バランス) ○ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、心身ともに健康で誇りとやりがいを持って働くことができる職場づくりを推進するため、教職員の勤務時間等の管理を適正に行うとともに、業務の改善や働き方の見直しを率先して行うことができる。	新任校長研修（第1回）

管理職として必要とされるマネジメント力	<p>【教育課題への対応力】 (グローバル教育・郷土教育)</p> <p>○児童生徒に豊かな国際感覚や郷土に対する愛着と誇りを育む教育活動を展開できるよう、学校の教育目標を設定し、教職員が組織的に取り組む体制を構築することができる。</p>	新任校長研修（第5回）
	<p>(キャリア教育)</p> <p>○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、キャリア教育の目標を設定し、保護者や地域、関係機関との連携を図りながら、教職員が組織的に取り組む体制を構築することができる。</p>	新任校長研修（第5回）
	<p>(情報教育)</p> <p>○児童生徒に、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成するとともに、ICTを活用した効果的な指導が学校全体として進められるよう学校教育目標を設定し、教職員全員が専門性を高めて取り組む体制を構築することができる。</p>	新任校長研修（第5回）
	<p>(人権教育)</p> <p>○児童生徒が人権について正しい理解と認識を深め、偏見や差別をなくしていこうとする態度を身につけるため、学校の教育活動全体を通じて人権教育が総合的かつ系統的に展開できるよう、人権教育計画を策定し、保護者や地域、関係機関と連携しながら進めることができる。</p>	未来を拓く人権教育 【人権】管理職人権教育研修会（高・特） 人権教育推進管理職研修会（小・中） 人権教育推進委員会等代表者研修会（小・中） 地区別人権教育研修会（高・特） 「指導資料等」活用のための講座（全）
	<p>(特別支援教育)</p> <p>○特別な支援を必要とする児童生徒への対応について深い見識を持ち、適切な指導や必要な支援が組織的に行われるよう、保護者や地域、関係機関と連携して、自校の教育体制を構築するとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	新任校長研修（第5回） 【特支】特別支援学校新学習指導要領説明会（特）
	<p>(外国人児童生徒教育)</p> <p>○日本語指導が必要な児童生徒への対応や多文化共生について深い見識を持ち、適切な指導や必要な支援等が組織的に行われるよう、保護者や地域ボランティア、関係機関等と連携を図り、自校の教育体制を構築するとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	新任校長研修（第5回） 外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修 ※教職員支援機構との連携講座 【小中】外国人児童生徒教育検討会議（小・中）
	<p>(いじめに関する事項)</p> <p>○いじめの防止及び早期発見・早期解決を図るため、学校いじめ防止基本方針を策定し、保護者や地域、関係機関等と連携して、組織的に対応する学校体制を構築することができる。また、いじめ事案が発生した際には、対応方針を明確にし、問題解決に向けて率先して誠実に対応するとともに、教職員に対して適切な指示及び指導・助言ができる。</p>	新任校長研修（第1回）
	<p>(不登校に関する事項)</p> <p>○不登校及び不登校傾向の児童生徒に対する深い見識を持ち、保護者や関係機関等と連携を行いながら、率先して的確な対応を行うとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	新任校長研修（第1回）
<p>(防災に関する事項)</p> <p>○児童生徒が防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を身につけられるよう、防災教育の方針を定め、保護者や地域、関係機関と連携しながら組織的な取組を進めるとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。</p>	新任校長研修（第2回） 災害時における管理職のリーダーシップ研修 【総務】学校防災リーダー等教職員研修 災害時学校支援チーム隊員育成研修	

7 法定・悉皆（しっかい）研修対象指標項目一覧

初任者研修: 教職に対する情熱と使命感及び教育公務員としての自覚を高め、学習指導や生活指導に関する基礎・基盤を固め、実践力を磨き、初任者の教育力を高めることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感																
	倫理観 コンプライアンス																
	社会性 コミュニケーション力																
	学び続ける意欲 探究心																
必要とされるに専門性	児童生徒理解																
	授業力	授業計画															
		授業実践															
		授業改善															
	生徒指導																
	学校運営力	学級経営 学校運営への参画															
		危機管理															
		チームワーク 人材育成															
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働															
		ワーク・ライフ・バランス															
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育															
		キャリア教育															
		情報教育															
		人権教育															
		特別支援教育															
		外国人児童生徒教育															
いじめに関する事項																	
不登校に関する事項																	
防災に関する事項																	
備考								授業実践研修				ネット研修 2講座					

教職2～3年次研修: 今日的教育課題や自己の教育課題について最新の知見や対応方策に関する知識を身に付け、実践力を磨き、教職として基礎・基盤を固めることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感									
	倫理観 コンプライアンス									
	社会性 コミュニケーション力									
	学び続ける意欲 探究心									
必要とされるに専門性	児童生徒理解									
	授業力	授業計画								
		授業実践								
		授業改善								
	生徒指導									
	学校運営力	学級経営 学校運営への参画								
		危機管理								
		チームワーク 人材育成								
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働								
		ワーク・ライフ・バランス								
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育								
		キャリア教育								
		情報教育								
		人権教育								
		特別支援教育								
		外国人児童生徒教育								
いじめに関する事項										
不登校に関する事項										
防災に関する事項										
備考						第4回～6回については個々の教育課題、ニーズに合った研修講座を受講	ネットDE研修 2講座受講	ネットDE研修 2講座受講		

教職6年次研修：今日的教育諸課題について最新の知見や対応方策を身につけること、及び授業の改善を重視しながら優れた授業力を身につけることを通して、知識や経験に基づく実践力を高めることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	
		教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感				
		倫理観 コンプライアンス					
		社会性 コミュニケーション力					
		学び続ける意欲 探究心					
必要職を担うに専門性	児童生徒理解		※				
	授業力	授業計画					
		授業実践					
		授業改善					
	生徒指導		※				
	学校組織運営力	学級経営 学校運営への参画		※			
		危機管理					
		チームワーク 人材育成					
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働		※			
		ワーク・ライフ・バランス					
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育					
		キャリア教育					
		情報教育					
		人権教育		※			
		特別支援教育		※			
		外国人児童生徒教育					
		いじめに関する事項		※			
		不登校に関する事項		※			
	防災に関する事項						
備考		※については、選択受講		授業実践研修			

中堅教諭等資質向上研修Ⅰ：教職経験11年目の教諭が、多様な経験に基づいた実践を展開するために必要な実践的指導力の向上を図ることを目的とする。

中堅教諭等資質向上研修Ⅱ：中堅教諭等資質向上研修Ⅰを受講後、5年経過した教諭が、学校の中核的役割を担うとともに、若手教員を指導できるために必要となる資質の向上を目的とする（令和5年度から実施）。

資質能力にかかる項目		中堅教諭等資質向上研修Ⅰ					
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感						
	倫理観 コンプライアンス						
	社会性 コミュニケーション力						
	学び続ける意欲 探究心						
必要職を担うに専門性	児童生徒理解						
	授業力	授業計画					
		授業実践					
		授業改善					
	生徒指導						
	学校組織運営力	学級経営 学校運営への参画					
		危機管理					
		チームワーク 人材育成					
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働					
		ワーク・ライフ・バランス					
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育					
		キャリア教育					
		情報教育					
		人権教育					
		特別支援教育					
		外国人児童生徒教育					
		いじめに関する事項					
		不登校に関する事項					
	防災に関する事項						
備考						授業実践研修	

新規採用養護教諭研修：職務を適切に遂行することのできる実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知識を得させ養護教諭としての基礎・基盤を固めることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感											
	倫理観 コンプライアンス											
	社会性 コミュニケーション力											
	学び続ける意欲 探究心											
必要とされるに専門性	児童生徒理解											
	授業力	授業計画										
		授業実践										
		授業改善										
	生徒指導											
	学校運営力	学級経営 学校運営への参画										
		危機管理										
		チームワーク 人材育成										
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働										
	教育課題への対応力	ワーク・ライフ・バランス										
		グローバル教育・郷土教育										
		キャリア教育										
		情報教育										
		人権教育										
		特別支援教育										
外国人児童生徒教育												
いじめに関する事項												
不登校に関する事項												
防災に関する事項												
養護教諭に必要な事項(専門領域)	保健管理											
	保健教育											
	保健室経営											
	健康相談											
保健組織活動												

養護教諭6年次研修：教職6年を迎えた養護教諭が、専門職としての力量をさらに高めるとともに、学校教育全般に関する理解を深め、学校教育活動の一環として保健活動を展開する能力を身に付けることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
教職を担うにあたり必要とされる素養・専門性	学び続ける意欲 探究心					
	児童生徒理解					
	生徒指導					
	危機管理					
	特別支援教育					
	いじめに関する事項					
	不登校に関する事項					
養護教諭に必要な事項(専門領域)	保健管理					
	保健教育					
	保健室経営					
	健康相談					
	保健組織活動					

中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ：教職経験11年目の養護教諭が、多様な知識や経験に基づいた実践を展開するために必要な専門性の向上を図ることを目的とする。

中堅養護教諭等資質向上研修Ⅱ：中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰを受講後、5年を経過した養護教諭が、学校保健の推進において中核的な役割を担うことができることを目的とする（令和5年度から実施）。

資質能力にかかる項目		中堅養護教諭等資質向上研修Ⅰ					
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
教職を担うにあたり必要とされる素養・専門性	教育的愛情 使命感 責任感						
	社会性 コミュニケーション力						
	学び続ける意欲 探究心						
	児童生徒理解						
	危機管理						
	特別支援教育						
	不登校に関する事項						
	防災に関する事項						
養護教諭に必要な事項(専門領域)	保健管理						
	保健教育						
	保健室経営						
	健康相談						
	保健組織活動						

新規採用栄養教諭研修：新規採用の養護教諭に対して学校給食栄養管理者としての自覚を促し、その職務を適切に遂行することのできる実践力を磨き、基礎・基盤を固めることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感												
	倫理観 コンプライアンス												
	社会性 コミュニケーション力												
	学び続ける意欲 探究心												
必 教 職 と を さ 担 れ う る に 専 あ 門 た り 性	児童生徒理解												
	授 業 力	授業計画											
		授業実践											
		授業改善											
		生徒指導											
	運 営 力	学級経営 学校運営への参画											
		危機管理											
		チームワーク 人材育成											
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働											
		ワーク・ライフ・バランス											
	対 応 力	グローバル教育・郷土教育											
		キャリア教育											
		情報教育											
		人権教育											
		特別支援教育											
		外国人児童生徒教育											
		いじめに関する事項											
不登校に関する事項													
防災に関する事項													
栄養教諭に必要な事項(専門領域)	給食管理	栄養管理(献立作成)											
		衛生管理											
	食に関する指導	給食の時間の指導											
		教科等における指導											
		個別の相談指導											

栄養教諭6年次研修：教職6年を迎えた栄養教諭が、専門職としての力量をさらに高めるとともに、知識や経験に基づいた実践力を高めることを目的とする。

資質能力にかかる項目		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
教職を担うにあたり必要とされる素養・専門性	学び続ける意欲 探究心					
	授 業 力	授業計画				
		授業実践				
		授業改善				
学校運営	危機管理					
	チームワーク 人材育成					
栄養教諭に必要な事項(専門領域)	給食管理	栄養管理(献立作成)				
		衛生管理				
	食に関する指導	給食の時間の指導				
		教科等における指導				
		個別の相談指導				

中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ：教職経験11年目の栄養教諭が、多様な知識や経験に基づいた実践を展開するために必要な専門性の向上を図ることを目的とする。

中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅱ：中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰを受講後、5年を経過した栄養教諭が、食育の推進における中核的な役割を果たすために必要となる資質の向上を目的とする(令和5年度から実施)。

資質能力にかかる項目		中堅栄養教諭等資質向上研修Ⅰ						
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	
教職を担うにあたり必要とされる素養・専門性	学び続ける意欲 探究心							
	授 業 力	授業計画						
		授業実践						
		授業改善						
	学校運営	危機管理						
チームワーク 人材育成								
栄養教諭に必要な事項(専門領域)	給食管理	栄養管理(献立作成)						
		衛生管理						
	食に関する指導	給食の時間の指導						
		教科等における指導						
		個別の相談指導						

新任校長研修：校長の職務、今日的教育課題等を学ぶとともに、学校組織マネジメント力を高め、学校のリーダーとして幅広い視野で学校経営を行うために必要な校長としての資質能力の向上を目的とする。

新任教頭研修：教頭の役割や学校組織マネジメントについて理解を深めるとともに、校長を補佐し、教職員をとりまとめ、豊かな教職経験を活かして適切に学校経営を行うために必要な教頭としての資質能力の向上を目的とする。

資質能力にかかる項目		新任校長研修					新任教頭・准校長研修				
		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感										
	倫理観 コンプライアンス										
	社会性 コミュニケーション力										
	学び続ける意欲 探究心										
管理職として必要とされるマネジメント力	教員の指導力向上										
	運営力	学校経営									
		危機管理									
		チームワーク 人材育成									
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働									
		ワーク・ライフ・バランス									
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育									
		キャリア教育									
		情報教育									
		人権教育									
		特別支援教育									
		外国人児童生徒教育									
		いじめに関する事項									
		不登校に関する事項									
防災に関する事項											

新任主幹教諭研修：主幹教諭の職務や学校組織マネジメントについて理解を深め、管理職を補佐し、学校の管理運営に関する事項を行うために主幹教諭として必要な資質能力の向上を目的とする。

新任指導教諭研修：指導教諭の役割や学校組織マネジメントについて理解を深め、高い専門性に基づき、教員の授業力の向上のための指導・助言を行うために指導教諭として必要な資質能力の向上を目的とする。

資質能力にかかる項目		新任主幹教諭研修		新任指導教諭研修		
		第1回	第2回	第1回	第2回	
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感					
	倫理観 コンプライアンス					
	社会性 コミュニケーション力					
	学び続ける意欲 探究心					
必要とされる専門性	授業力	授業計画				
		授業実践				
		授業改善				
	学校運営力	学級経営 学校運営への参画				
		危機管理				
		チームワーク 人材育成				
		家庭・地域社会・関係機関との連携と協働				
ワーク・ライフ・バランス						

Ⅲ 教育課題対応研修別対象ライフステージ一覧

教員自らが身につけたい力に応じて主体的に受講する教育課題対応研修を資質・能力にかかる項目（中項目）別に整理し、それぞれの研修講座がどのライフステージを主な対象としているかを示しています。

自らが身につけたい力に該当する研修講座が、どのライフステージを主な対象としているかを確認し、受講の申し込みをする際の参考にしてください。

1 県総合教育センター実施の研修講座

資質能力にかか る項目	研修講座名	ライフステージ				職階		
		第1	第2	第3	第4	教頭等	校長	
児 童 解 説	教 育 相 談	教育相談ベーシック研修						
	教 育 相 談	教育相談スキルアップ研修						
	教 育 相 談	教育相談リーダー育成研修						
	教 育 相 談	ケース・カンファレンス						
授 業 力	教 科 等 研 修	小学校国語授業づくり研修1（講義・協議）						
		小学校国語授業づくり研修2（実践）						
		小学校国語授業づくり研修3						
		中学校国語授業づくり研修						
		中学高校国語授業づくり研修						
		小中学校社会授業づくり研修						
		小学校社会授業づくり研修						
		小中学校算数・数学授業づくり						
		小学校算数授業づくり研修（発展）						
		小中学校理科授業づくり研修						
		小学校理科スキルアップ研修						
		中学校理科スキルアップ研修						
		小学校理科実験地域別研修						
		高校生物研修						
		図工・美術授業づくり研修						
		小学校体育授業づくり研修						
		中高体育授業づくり研修						
		中学校技術授業づくり研修						
		小学校英語教育研修						
		小学校英語Small Talk実践研修						
		小学校英語授業づくり研修1（講義・協議）						
		小学校英語授業づくり研修2（実践1）						
		小学校英語授業づくり研修2（実践2）						
		中学校英語教育研修						
		中学校英語授業づくり研修1（講義・協議）						
		中学校英語授業づくり研修2（実践1）						
		中学校英語授業づくり研修2（実践2）						
		高校英語授業づくり研修1（講義・協議）						
		高校英語授業づくり研修2（実践1）						
		高校英語授業づくり研修2（実践2）						
		高校英語教育研修						
		英語力アップ研修						
		高校英語授業づくり研修						
		小学校英語－指導と評価に係る研修－						
		中学校英語－指導と評価に係る研修－						
		高校英語－指導と評価に係る研修－						
		外国語教育におけるICT活用研修						
		中学校英語地域別研修						
		小中道徳科授業づくり研修						
		NIE講座－教育に新聞を－						
授業改善のための実践研修－県立学校の教科指導に関わる公開授業をとおして－								
教職2～3年次教員のための授業力アップ研修								
指 導 性	マ ネ ジ メ ン ト	いじめをしない・させない心の育成に向けて						
		アンガーマネジメントと言葉がけのスキル						
学 校 運 営 力	マ ネ ジ メ ン ト	学校組織マネジメントリーダー育成研修						
		授業研究推進リーダー育成研修						
		校長のためのトップマネジメント研修						
		教頭のためのトップマネジメント研修						
		学校組織マネジメント研修I						
教 科	M i e M u	一緒に始めよう、考えよう、人権教育						
		誰もが自分らしく生きられる社会へ－多様な性の在り方－						
		未来を拓く人権教育						
		通常学級における特別な支援						
		合理的配慮に基づいたICT活用						
		困り感のある子への支援－姿勢や身体の動き－						
		特別支援教育基礎講座						
		医学一般研修						
		日本語指導を必要とする児童生徒への支援						
		明日から始めよう、すぐできる、多文化共生教育のアイデア						
		SDGsの視点で取り組む多文化共生教育の実践						
		学校で取り組むSDGs－校庭の樹木の活用法－						
		共に学ぶ学級経営						
		クラスで取り組むキャリア教育の進め方						
		情報 研 修	プレゼンだけじゃない！校務効率化を目指すプレゼンソフト活用講座					
		情報 研 修	校務効率化で時短をめざせ！表計算ソフト活用講座					
		情報 研 修	1人1台端末でのG Suite for Education活用法					
		情報 研 修	1人1台端末での授業支援ツール・ロイロノート活用法					
		情報 研 修	1人1台端末環境で起きた児童・生徒間トラブルと情報モラル教育					
		情報 研 修	なるほど！小学校プログラミング教育活用講座					
情報 研 修	1人1台端末活用講座（小学校編、中学校編、高等学校編、特別支援学校編）							
情報 研 修	教員ICT活用指導力向上講習会							
情報 研 修	1人1台端末活用推進者育成研修							
情報 研 修	高等学校「情報I」担当教員研修							
連 携	外国人児童生徒等への日本語指導指導者養成研修							

2 その他県教育委員会実施の研修講座

資質能力にかかわる項目	講座名	ライフステージ						対象校種			
		第1	第2	第3	第4	教頭等	校長	小	中	高	特
指導員 向上力	★【小中】 公立小中学校等校長研修会							●	●		
	★【学力】 オンラインによる校長研修会							●	●		
授業力	【学力】 授業改善研修会（小学校算数、中学校数学）							●	●		
	【学力】 授業改善研修会（小学校国語、中学校国語）							●	●		
	★【学力】 ICTを活用したわかる授業推進事業に係る全体会							●	●		
	★【小中】 道徳教育推進会議							●	●		
	【小中】 小学校英語教育研修							●			
	【小中】 中学校英語教育研修								●		
	【小中】 幼稚園教育研究協議会							●			
	★【高校】 外国語指導助手県内研修会							●	●	●	●
	★【高校】 外国語指導助手の指導力等向上研修							●	●	●	●
	★【高校】 外国語教育の充実を図るための研修会									●	
	【保体】 小学校元気アップ研修会							●			●
	【保体】 中・高等学校元気アップ研修会								●	●	●
	【保体】 元気アップブロック別協議会							●	●	●	●
	【保体】 薬物乱用防止教室推進のための講習会							●	●	●	●
	【保体】 がん教育についての講習会							●	●	●	●
	【保体】 学校給食の安全と充実に向けた講習会							●	●		●
【保体】 学校における食育ステップアップ講習会							●	●	●	●	
【保体】 武道等指導力向上講習会								●	●	●	
【保体】 運動部活動指導者スキルアップ研修会								●	●	●	
生徒指導	★【生指】 小中学校生徒指導担当者講習会							●	●		
	★【生指】 高等学校生徒指導主事等研修会									●	●
学校組織 運営力	★【生指】 防犯教室講習会								●		
	★【生指】 交通安全教室講習会							●		●	
	【総務】 学校危機管理専門研修会							●	●	●	●
教育課題への 対応力	【小中】 外国人児童生徒教育検討会議							●	●		
	【高校】 三重県高等学校進路指導研修会									●	●
	【高校】 キャリア教育フォーラム							●	●	●	●
	★【人権】 管理職人権教育研修会									●	●
	★【人権】 人権教育推進管理職研修会							●	●		
	★【人権】 人権教育推進委員会等代表者研修会							●	●		
	★【人権】 地区別人権教育研修会									●	●
	【人権】 「指導資料等」活用のための講座							●	●	●	●
	【特支】 発達障がい専門研修							●	●	●	●
	【特支】 発達障がいエリア研修							●	●	●	●
	【特支】 発達障がい支援研修							●	●	●	●
	★【特支】 高等学校特別支援教育コーディネーター会議・研修会									●	
	【特支】 特別支援学校医療的ケアスキルアップ研修会										●
	【特支】 発達障がい支援アドバイザー養成研修							●	●		●
【総務】 学校防災リーダー等教職員研修							●	●	●	●	
★【総務】 災害時学校支援チーム隊員育成研修							●	●	●	●	

「★」がついている講座は、受講対象者が「該当者（担当）のみ」です。【 】で担当課名を記載しています。
 詳細については担当課にお問合わせください。

- | | |
|----------------|------------------------|
| 【小中】 → 小中学校教育課 | 【学力】 → 学力向上推進プロジェクトチーム |
| 【高校】 → 高校教育課 | 【特支】 → 特別支援教育課 |
| 【生指】 → 生徒指導課 | 【人権】 → 人権教育課 |
| 【保体】 → 保健体育課 | 【総務】 → 教育総務課 |

IV 動画配信によるオンデマンド型研修（ネット DE 研修）

さまざまな教育課題に対応した研修教材を勤務校等で任意の時間に繰り返し研修できる機会を確保するために、インターネット回線を利用してパソコンだけでなくスマートフォンやタブレット等でも視聴可能な形で配信する研修システムです。次ページからの表は、現在配信している 216 コンテンツ（R3.3.1 現在）を資質・能力にかかる項目（小項目）別に分類したものです。

なお、独立行政法人教職員支援機構（NITS）のオンライン講座のうち、校内研修シリーズの 89 コンテンツも視聴できるようにしました。

【NITS 校内研修シリーズ】

学校組織マネジメントⅠ（学校の内外環境の分析）	教職員のメンタルヘルス・マネジメント	教師の資質と役割とをめぐるディスコースの国際動向
学校組織マネジメントⅡ（学校ビジョンの検討）	学校安全（総論）	あの日学校で起きたこと～改めて備えと災害時の対応について考える～
チーム学校の実践を目指して	研修の企画・運営・評価	学習指導要領の読み解き方
新しい学習指導要領において期待される学び	新学習指導要領を具現化した新教材の解説	災害から考える リスク・マネジメント
道徳教育	言語活動	深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント
学校のビジョンと戦略	外国人児童生徒等に対する日本語指導	コーチングのスキルと活用Ⅰ
キャリア教育	学校教育の情報化	発達の段階に応じた道徳科の指導
いじめ対策のポイントといじめ防止基本方針の改定	体力向上マネジメント	道徳教育とカリキュラム・マネジメント
学習指導要領	教育と法Ⅲ（地方教育行財政制度）	コーチングのスキルと活用Ⅱ
総則とカリキュラム・マネジメント	教育と法Ⅳ（学校の保健安全管理）	自閉症スペクトラム当事者からみた特別支援教育
教育と法Ⅰ（学習指導要領と教育課程の編成）	キャリア教育の実践	事件や事故に遭遇したとき、学校はどう対応すればよいのか
教育と法Ⅱ（生徒指導）	消費者教育	学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために
生徒指導	教育現場におけるコーチングコミュニケーション	重大事故発生時の対応～救命処置の観点から～
自殺予防	リスクマネジメント～学校の危機をいかに防ぐか～	これからの学校におけるミドルリーダーシップ
教育相談に関するマネジメントの推進	ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応	リーダーシップとマネジメント
人材育成とコーチング	道徳科に求められる評価	学校における ICT を活用した学習場面
特別支援教育の実践	不登校児童生徒の支援と教育相談	多様な学びの支援～新学習指導要領「障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫」を実現するために～
総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント	いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方	病弱教育における ICT 活用
学校組織マネジメントⅢ（人材育成）～教職員が育つ学校づくり～	地域の教育活性化とスクールリーダー	コーチングのスキルと活用Ⅲ～不登校解決のためのリソースを探す～
特別支援教育総論	学校における働き方改革「先生が忙しすぎる」をあきらめない	コーチングのスキルと活用Ⅳ～円滑な保護者対応に生かす～
カリキュラム・マネジメントとは	地域と共に創る教育～隠岐島前高校の探究的な学びが目指すもの～	高等学校における道徳教育の充実に向けて
生活安全	学校財務マネジメント	情報社会に主体的に参画する態度を育む指導
道徳科の授業の充実を図るために	アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ	児童生徒の協働的な学びにおける ICT 活用
「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ	カリキュラム・マネジメント～新学習指導要領とこれからの授業づくり～	学校における環境衛生（感染症対策）
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて	児童虐待防止に向けた学校の取組	学校における感染症対策の在り方
災害安全	いじめのとりえ方と予防	学校のマネジメントモデルの転換と事務職員の役割
保健教育の基礎	育成指標の機能と活用	学校で配慮と支援が必要な LGBTs の子どもたち
幼児教育	『主体的・対話的で深い学び』を見取り、実現する校内研修	分かりやすい授業づくりのための教科指導における ICT 活用
学校全体で取り組む食育の進め方	働き方改革時代の管理職に求められるタイムマネジメント・スキル	教育機会確保法と不登校支援施策
人権教育	教員採用統一試験実施の可能性と課題	

①教諭

資質能力にかかる項目		講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー等	
教職を担うにあたり必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感	これで安心！新任先生のための8つの心構え 教職員のためのビジネスマナー講座 ～良好な人間関係づくりのために～ 新ちゃんのお笑い人権講座	職務・職能 職務・職能 人権教育	
	倫理観 コンプライアンス	これだけは！教師に求められる知的財産の知識 教育活動における体罰の防止－学校観の変化の中で－ 教師のための著作権 信頼される教職員をめざして－不祥事根絶に向けて－ 学級経営と教育法規 -スクール・コンプライアンスの確立に向けて－	コンプライアンス（法令遵守） コンプライアンス（法令遵守） コンプライアンス（法令遵守） コンプライアンス（法令遵守） コンプライアンス（法令遵守）	
	社会性 コミュニケーション力	コーチングの魅力 ～その実践を通して～ コーチング実践編Ⅱ コーチング実践編Ⅰ コーチング -教えるティーチングから能力を引き出すコーチングへ- 表現を磨いて生き生き学級経営 教職員のためのビジネスマナー講座 ～良好な人間関係づくりのために～ 教員のためのコミュニケーションスキル	コーチング コーチング コーチング コーチング 学級経営 職務・職能 授業方法	
	学び続ける意欲 探究心	【カテゴリー】 授業方法・教科指導等にある各講座		
教職を担うにあたり必要とされる専門性	児童生徒理解	スクールカウンセラーの活用 児童生徒理解 ～思春期の子どもとネット社会～ 教育相談入門 ～臨床心理学的視点から～ 学校で使えるカウンセリングテクニック 児童生徒理解 -学校における教育相談- 児童生徒理解 -学校において様々な不適応を示す児童生徒への理解とかかわり- 子どもの発達と心の理解	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談	
	授業力	【カテゴリー】 授業方法・教科指導等にある各講座		
	生徒指導	スクールカウンセラーの活用 「生徒指導提要」を活用する生徒指導の改善・充実 児童虐待と学校対応の基礎 生徒指導 -児童の理解と「学級崩壊」への対応について-	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談	
	学校組織運営力	学級経営 学校運営への参画	通常学級で無理なくできるユニバーサルデザイン ～あったかクラスづくり～ 学級づくりに活かすソーシャルスキルトレーニング 学級集団を「育てる」 尾木直樹の“子どもが自立する学校” -その秘訣- カリキュラム・マネジメント 学級における人間関係づくり -円滑な学級経営のために-	特別支援教育 特別支援教育 学級経営 学級経営 学校経営 学級経営
		危機管理	学校における危機管理 [実践編] 地域安全マップづくり	学校安全・危機管理 学校安全・危機管理
		チームワーク 人材育成	先生がお手本、次世代育成 本気のチームづくり コミュニティ・スクールの可能性を追求する～授業を開く 人材育成ユニット～	男女共同参画・次世代育成支 教育一般 教育一般
		家庭・地域社会・関係 機関との連携と協働	コミュニティ・スクールの可能性を追求する～授業を開く 人材育成ユニット～ 保護者との良好な関係づくり	教育一般 教育一般
		ワーク・ライフ・バランス	男女共同参画社会の実現に向けて はじめよう！ワーク・ライフ・バランス -パパの極意 仕事も育児も楽しむ生き方- 教職員の悩みとメンタルヘルス ～悩みと上手につきあうために～ こころが強くなるには -すぐにできるメンタルトレーニング- 学校の働き方改革（教職員向け）	男女共同参画・次世代育成支 男女共同参画・次世代育成支 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 教育一般
	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育	国際理解教育の推進 - J I C A 中部の取組 - 熊野古道の歴史と文化 地方創生と教育～SDGsを学校教育に～	人権教育 教育一般 教育一般
		キャリア教育	キャリア教育の充実のために 金メダリストはこうして育った よりよい生活の実現に向けた消費者教育	教育一般 教育一般 教育一般
		情報教育	「知らなかった」じゃ済まない！～個人情報保護・情報セキュリティについて～ 【ICT基準A・E対応】指導計画の作成と校務の情報化 【ICT基準B対応】ICTを活用してわかる授業をする力 【ICT基準C対応】児童・生徒のICT活用能力を育てるには 【ICT基準D対応】誰にもできる！情報モラルの指導について インターネットの急激な変化と学校現場での指導 児童生徒の情報活用能力の育成 -最近の情報端末活用授業-	コンプライアンス（法令遵守） ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育
		人権教育	「人権教育カリキュラム」の作成について 桂七福の人権落語 学校における人権教育の在り方について インターネットと人権 ～人権を侵害する情報に出会ったらどうするか～ 人権一人芝居「もも子」～人権教育と学級集団づくりについて考える～ 「多様な性のあり方を知り、行動するための職員ガイドライン」について	人権教育 人権教育 人権教育 人権教育 人権教育 人権教育

教職を担うに あたり必要と される専門性	教育課題への 対応力	特別支援教育	医療的ケアを必要とする子どもと家族が地域で暮らすこと 医療的ケアを必要とする子どもと家族が地域で暮らすことー喀痰吸引・経管栄養編ー クラスの中にある「気になる子ども」をどう支援するか 気になる子どもへの指導と保護者支援の実際 特別支援学級等担当の心構え 特別支援教育 ～通常の学級における教科指導～ 自閉症の理解を求めて ～息子とともに生きて～ ICTを活用した支援 手話入門～コミュニケーションをとるために～ 三重県の特別支援教育について 発達障がいのある子の健康と身体づくり	特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育
		外国人児童生徒教育	DLAからはじまる外国人児童生徒教育と社会適応 外国人児童生徒のための日本語教育の考え方や環境づくり ～子どもたちが将来の見通しをもって生きるために～ 多文化共生の視点に立った教育の推進～日本語指導の充実を通して～ 外国人児童生徒教育の充実「日本語指導の手引き(4)」活用に向けて 外国人児童生徒教育の充実 教室で使えるポルトガル語講座	教育一般 学級経営 学級経営 学級経営 学級経営
		いじめに関する事項	いじめによる不登校への支援 予防を中心にしたいじめ対策 いじめの実態理解から対策へ いのちの教育ーいじめを乗り越える学級づくりー よりよい生活や人間関係を築く特別活動 ～いじめ等の未然防止、学力向上の土壌づくり～	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 学級経営
		不登校に関する事項	いじめによる不登校への支援 不登校状態の医学的背景とその対応 不登校対策・ひきこもり対策、適応指導教室と学校の関わり方 生徒指導ー児童の理解と「不登校」への対応についてー	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談
		防災に関する事項	「防災ノート」を活用した効果的な防災学習の進め方 自らのいのちを守る防災教育の実践 巨大災害に備える 自らの命を守る防災教育 阪神淡路大震災の体験 ～人々を救ったのは人の心～	学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理

②教頭・准校長及び校長

★は管理職のみ対象の講座

資質能力にかかる項目		講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー 等			
必要とされる 素養	教職を担うに あたり	教育的愛情 使命感 責任感	これで安心！新任先生のための8つの心構え 教職員のためのビジネスマナー講座 ～良好な人間関係づくりのために～ 総合的な学習の時間と事務職員の役割	職務・職能 職務・職能 職務・職能		
		倫理観 コンプライアンス	教育活動における体罰の防止ー学校観の変化の中でー 信頼される教職員をめざしてー不祥事根絶に向けてー 学級経営と教育法規ースクール・コンプライアンスの確立に向けてー	コンプライアンス（法令遵守） コンプライアンス（法令遵守） コンプライアンス（法令遵守）		
		社会性 コミュニケーション力	教職員のためのビジネスマナー講座 ～良好な人間関係づくりのために～ コーチングの魅力 ～その実践を通して～ コーチング実践編Ⅱ コーチング実践編Ⅰ コーチングー教えるティーチングから能力を引き出すコーチングへー 教員のためのコミュニケーションスキル	職務・職能 コーチング コーチング コーチング コーチング 授業方法		
		学び続ける意欲 探究心	【カテゴリー】 授業方法・教科指導等にある各講座			
		管理職として 必要とされる マネジメント力	学校組織運営力	教員の指導力向上	【カテゴリー】 授業方法・教科指導等にある各講座	
				学校運営	★地域とともに伸びゆく学校づくりー学校経営への学校事務の共同実施の効果的な活用についてー ★学校経営の充実を図る学校評価 学校経営と学校事務の共同実施 ★リーダーシップを発揮した質の高い学校経営 ★管理職のリーダーシップ 三重の学校事務の「共同実施」～学校運営のための有効活用～ カリキュラム・マネジメント ★会議がガラリと変わる！効果的な会議運営	学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 学校経営 教育一般 教育一般
危機管理	学校における危機管理【実践編】 地域安全マップづくり ★クライシス対応メディアトレーニング			学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理		
チームワーク 人材育成	コミュニティ・スクールの可能性を追求する～授業を開く 人材育成ユニット～ ★全ての教職員を活かす管理職の在り方 ★教職員の人材育成			教育一般 学校経営 学校経営		
家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	★学校経営の充実を図る学校評価 コミュニティ・スクールの可能性を追求する～授業を開く 人材育成ユニット～ 本気のチームづくり 保護者との良好な関係づくり			学校経営 教育一般 教育一般 教育一般		
ワーク・ライフ・バランス	男女共同参画社会の実現に向けて はじめよう！ワーク・ライフ・バランスーパパの極意 仕事も育児も楽しむ生き方ー 教職員の悩みとメンタルヘルス～悩みと上手につきあうために～ こころが強くなるにはーすぐにできるメンタルトレーニングー 学校の働き方改革（管理職向け）			男女共同参画・次世代育成支 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 教育一般		

管理職として必要とされるマネジメント力	教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育	国際理解教育の推進－ J I C A 中部の取組－ 熊野古道の歴史と文化 地方創生と教育～SDGsを学校教育に～	人権教育 教育一般 教育一般
		キャリア教育	キャリア教育の充実のために 金メダリストはこうして育った	教育一般 教育一般
		情報教育	「知らなかった」じゃ済まない！～個人情報保護・情報セキュリティーについて～ 【ICT基準A・E対応】指導計画の作成と校務の情報化 インターネットの急激な変化と学校現場での指導	コンプライアンス（法令遵守） ICT活用・情報教育 ICT活用・情報教育
		人権教育	「人権教育カリキュラム」の作成について 学校における人権教育の在り方について ★「人権教育こそ教育の基本」～管理職の役割～ ★楽しい学校をたのしく創りたい－管理職として人権・同和教育をどう進める	人権教育 人権教育 人権教育 人権教育
		特別支援教育	気になる子どもへの指導と保護者支援の実際 自閉症の理解を求めて～息子とともに生きて～ 手話入門～コミュニケーションをとるために～ 三重の特別支援教育について 発達障がいのある子の健康と身体づくり	特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育 特別支援教育
		外国人児童生徒教育	外国人児童生徒のための日本語教育の考え方や環境づくり～子どもたちが将来の見通しをもって生きるために～ 多文化共生の視点に立った教育の推進～日本語指導の充実を通して～ 外国人児童生徒教育の充実「日本語指導の手引き(4)」活用に向けて	学級経営 学級経営 学級経営
		いじめに関する事項	いじめによる不登校への支援 予防を中心にしたいじめ対策 いじめの実態理解から対策へ いのちの教育－いじめを乗り越える学級づくり－ よりよい生活や人間関係を築く特別活動～いじめ等の未然防止、学力向上の土壌づくり～	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 学級経営
		不登校に関する事項	いじめによる不登校への支援 不登校状態の医学的背景とその対応 不登校対策・ひきこもり対策、適応指導教室と学校の関わり方	生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談 生徒指導・教育相談
防災に関する事項	自らのいのちを守る防災教育の実践 巨大災害に備える 自らの命を守る防災教育 阪神淡路大震災の体験～人々を救ったのは人の心～ ★大震災における学校の対応－避難所運営の実際と学校教育の共存－ ★災害時における管理職のリーダーシップ－命の大切さをどう伝えるか－ ★三重県の学校における今後の防災対策・防災教育の在り方について<指針>	学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理 学校安全・危機管理		

③養護教諭

養護教諭にかかる必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目	講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー等	
特定の職に必要事項 (専門領域)	保健管理 保健教育 保健室経営 健康相談 保健組織活動	健康教育と食情報 学校におけるアレルギー疾患を有する子どもへの対応について 食物アレルギーとその対応 学校における新型インフルエンザ対策 学校保健マネジメント 多様化、深刻化する子どもの健康課題の解決に向けて－組織的に行う学校保健活動－ スポーツ医学～指導者必須の課題～ 健康相談活動の理論と実際～養護教諭の専門性・固有性・独自性を生かして～ 健康保障のための養護教諭の役割－健やかな心と体を育むために－	健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 学校安全・危機管理 学校経営 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス

④栄養教諭

栄養教諭にかかる必要な事項（専門領域）

資質能力にかかる項目	講座名	対応するネットDE研修の カテゴリー等	
特定の職に必要事項 (専門領域)	給食管理 栄養管理（献立作成） 衛生管理	健康教育と食情報 学校におけるアレルギー疾患を有する子どもへの対応について 食物アレルギーとその対応 スポーツのための栄養・食事学	健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス
食に関する指導	給食の時間の指導 教科等における指導 個別な相談指導	児童生徒の心に残る食の授業の作り方（消費者教育の視点から） 子どもの「身体」「心」「知識・スキル」を育てる食育 子どものこころとからだを育む食生活教育	授業方法 健康・メンタルヘルス 健康・メンタルヘルス

V 参考

- 校長及び教員としての資質の向上に関する指標
 - (1) 教員としての資質の向上に関する指標
 - (2) 教頭・准校長及び校長としての資質の向上に関する指標
 - (3) 養護教諭に必要な事項（専門領域）
 - (4) 栄養教諭に必要な事項（専門領域）

※対象となる学校種・職

①対象となる学校種

公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

②対象となる職

校長、准校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(1) 教員としての資質の向上に関する指標

ライフステージ		教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ
			初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降
資質能力にかか る項目		教職に就く者として求められる基礎的な知識や技能を身につけて いる。	基礎形成期	伸長期	充実期	発展期
					実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。
				指導教諭		高い専門性に基づき、教員の授業力向上のための指導・助言を行う。
				主幹教諭		関係主任と連携して管理職を補佐し、学校の管理運営に関する事項等を行う。
必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感	○児童生徒への深い愛情と教員としての使命感や責任感を身につけている。	○児童生徒への深い愛情と教職への誇り、強い使命感と責任感を持って、職務を遂行することができる。	○児童生徒への深い愛情と教職への誇り、強い使命感と責任感を持って、職務を遂行するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。		
	倫理観 コンプライアンス	○法令遵守や服務規律確保の重要性を理解している。	○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底している。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を理解し、自らを厳しく律することができる。	○教育公務員としての自覚と規範意識を持ち、法令や服務規律の遵守を徹底するとともに、他の教職員に適切な指導・助言ができる。 ○自らの行動が学校教育に寄せる県民の信頼に与える影響を自覚し、自らを厳しく律するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。		
	社会性 コミュニケーション力	○社会人としての常識と教養を身につけ、立場に応じた発言や行動ができる。	○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築することができる。 ○相手の思いを受け止めるとともに、自分の考えを適切に伝えることができ、組織の一員として行動できる。	○確かな人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域等との信頼関係を構築するとともに、他の教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。 ○教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活力ある組織づくりに貢献できる。		
	学び続ける意欲 探究心	○自己研鑽の必要性について理解し、自ら学び続ける意欲を持っている。	○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員と共に学び合い、職務の改善に活かすことができる。	○探究心を持って自己研鑽に努めるとともに、他の教職員に適切な指導・助言を行い、学校組織の中で「教職員を育てる文化」の醸成に寄与することができる。		
教職を担うにあたり必要とされる専門性	児童生徒理解	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景をふまえ、細やかな配慮の必要性を理解し、カウンセリングマインドを身につけている。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を把握し、カウンセリングマインドを持って向き合うことができる。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、カウンセリングスキルを活かして、一人ひとりに対する理解を深めることができる。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、教職員同士をつなげ、個に応じた問題解決への道筋を助言する等、適切に対応することができる。	○児童生徒一人ひとりの実態や生活背景を的確に捉え、個に応じた指導方針を立て、他の教職員に指導・助言を行いながら、適切に対応することができる。
	授業計画	○学習指導要領の内容を理解し、授業づくりに向けて、教科等に関する専門的知識・技能を身につけている。	○学習指導要領のねらいをふまえ、児童生徒の実態に応じて、児童生徒の主体的な学びを引き出す授業づくりができる。	○学習指導要領のねらいをふまえ、児童生徒の発達段階や習熟の程度に応じて創意工夫を凝らした授業づくりができる。	○高い専門性を身につけ、創意工夫を凝らした授業づくりを行うとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を活かした指導計画について、若手教員に適切な指導・助言ができる。	○高い専門性と豊かな経験を活かした授業づくりを行うとともに、カリキュラム・マネジメントの視点を活かした指導計画について、他の教員に適切な指導・助言ができる。
	授業実践	○基礎的な指導方法や指導技術を身につけ、授業を実践することができるとともに、学習評価を適切に行うことの大切さを理解している。	○児童生徒主体の授業を行うための適切な技能(説明・指示・発問等)を身につけ、各時限の目標を明確にした授業を実践し、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。	○児童生徒の発達段階や習熟の程度に応じ、創意工夫を凝らした授業を実践し、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。	○高い専門性を身につけ、創意工夫を凝らした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。また、若手教員の指導上の課題を捉え、例示しながら適切な指導・助言ができる。	○高い専門性と豊かな経験を活かした授業を実践するとともに、児童生徒の学習評価を適切に行うことができる。また、他の教員の意欲を引き出しながら授業展開について適切な指導・助言ができる。
	授業改善	○授業研究の必要性を理解し、授業改善に向け、継続して努力することができる。	○教科等の指導の工夫に努めるとともに、自らの授業を振り返り、他の教員の良いところを取り入れて、授業改善を図ることができる。	○教科等の指導の工夫に努めるとともに、自らの授業を振り返り、他の教員と授業研究をする中で、継続した授業改善を図ることができる。	○高い専門性を身につけ、豊かな経験を活かして、中核となつて継続的に授業改善を図るとともに、若手教員の指導方法について改善につながる適切な指導・助言ができる。	○高い専門性と豊かな経験を活かして、組織的・継続的な授業改善を図るとともに、指導方法について研究し、他の教員の指導の改善につながる適切な指導・助言ができる。
生徒指導	○児童生徒の普段の様子から児童生徒の発するサインに気づくことができる。 ○実態に即して個に応じた指導や集団への指導の必要性を理解している。	○日常的に児童生徒の生活状況を把握するとともに、児童生徒の発するサインを見逃すことなく、問題行動等を早期に発見し、他の教職員に報告・連絡・相談しながら迅速に対応することができる。	○日常的に児童生徒の生活状況を把握し、必要な声掛け、指導を行い、信頼関係を築くとともに、問題行動等の早期発見、迅速な対応を組織的に行うことができる。	○児童生徒の生活状況や心情を理解し、信頼関係を築きながら、必要な個別指導や集団指導を行うことができる。また、問題行動等の背景や原因を的確に把握して、適切な指導を組織的・系統的に行うことができる。 ○若手教員が抱える生徒指導上の諸課題について、適切な指導・助言ができる。	○児童生徒の生活状況や心情を理解し、問題行動等の背景・原因を的確に把握して必要な指導を行うことができる。また、生徒指導上の問題解決に向け具体的な方策を立て、組織的・系統的に取り組むことができる。 ○他の教員が抱える生徒指導上の諸課題について、適切な指導・助言ができる。	

ライフステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降	
		基礎形成期	伸長期	充実期	発展期	
資質能力にかかわる項目		実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。	
				指導教諭 高い専門性に基づき、教員の授業力向上のための指導・助言を行う。	主幹教諭 関係主任と連携して管理職を補佐し、学校の管理運営に関する事項等を行う。	
学校組織運営能力	学級経営 学校運営への参画	○学級担任としての役割や校務分掌の内容を理解している。	○学校教育目標を理解し、学級経営や教科指導を実践するとともに、担当する校務分掌における自らの役割を自覚して、計画的に職務を遂行できる。	○学校教育目標を理解して学級を経営するとともに、学校運営に積極的に関わり、担当する校務分掌についての企画・立案や改善策を提案できる。	○学校教育目標の達成や学校の課題解決のため、学級経営や学校運営に積極的に参画することができる。また、若手教員が抱える学級経営上の課題に気づき、適切な指導・助言を行い、学校全体の教育活動の活性化に寄与することができる。	○学校教育目標の達成や学校の課題解決のために、管理職と協議し、学級経営や学校運営に関して他の教職員に適切な指導や助言を行う等、先導的な役割を果たすことができる。
	危機管理	○学校における安全配慮義務や危機管理の重要性を理解するとともに、有事の際に基本的な危機回避行動ができる。	○児童生徒の活動に際し、常に危機管理意識を持ち、他の教職員の指導・助言を受けながら的確な安全確保策を講じることができる。	○児童生徒の活動に際し、常に危機管理意識を持ち、周囲と相談・確認しながら、迅速かつ確かな安全確保対策を講じることができる。	○危機を予測した未然防止の取組と、危機の早期発見、早期対応に努め、学校全体の安全・防災について中心的な役割を担うことができる。	○危機の未然防止のための学校環境の必要な改善及び事故の再発防止の取組を提案できる。
	チームワーク 人材育成	○組織の一員としての自覚を持ち、周囲からの指導・助言を受け止め、周囲と連携・協力して行動することができる。	○組織の一員として求められる役割を理解し、他の教職員からの指導・助言を受けながら協働し、円滑に職務を遂行することができる。	○主体的に職務を遂行するとともに、課題を共有できる環境づくりに努め、若手教員をサポートしながら学び合うことができる。	○教育活動が組織的に行われるよう、教職員が互いに学び合い、支え合う環境づくりの中核的役割を担うことができる。	○教育活動が組織的に行われるよう、豊かな経験を活かし、互いに学び合い、支え合う教職員集団づくりを中心に行うことができる。
	家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	○学校が家庭や地域、関係機関と連携して教育活動を行うことの効果や重要性を理解している。	○主体的・積極的に家庭や地域と関わり、良好な信頼関係を築くとともに、他の教職員の指導・助言を受けながら適切に対応することができる。	○家庭や地域、関係機関と良好な信頼関係を築き、連携・協働した教育活動に取り組むことができる。	○家庭や地域、関係機関との信頼関係を深め、連携・協働した教育活動を企画・立案することができる。	○家庭や地域、関係機関との調整役を果たすとともに、情報発信を行う等、連携・協働した教育活動の具体的な取組を組織的に推進することができる。
	ワーク・ライフ・バランス	○ワーク・ライフ・バランスの重要性を理解している。	○業務の簡素化や効率化について、他の教職員との対話をとおり業務改善を図り、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できる。	○業務の簡素化や効率化を図るための教職員間の対話を促進し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できるよう教職員が協力し合える組織風土づくりに寄与することができる。	○業務の簡素化や効率化を図るための教職員間の対話を促進し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できるよう教職員が協力し合える組織風土づくりに寄与することができる。	○業務の簡素化や効率化を図るための教職員間の対話を促進し、心身ともに健康で意欲的に職務を遂行できるよう教職員が協力し合える組織風土づくりに寄与することができる。
	グローバル教育・郷土教育	○豊かな国際感覚を持つことや、郷土を愛することの大切さを理解している。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開することができる。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開するとともに、指導方法について若手教員に適切な指導・助言ができる。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。
	キャリア教育	○社会の動向やニーズに関心をもち、キャリア教育の重要性を理解している。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につける学習を展開することができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制を整備し、指導方法について若手教員に適切な指導・助言ができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制や実践を支える運営体制を整備することができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制や実践を支える運営体制を整備することができる。
	情報教育	○ICTの効果や情報教育の必要性を理解している。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開することができる。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。
	人権教育	○人権教育の意義とその重要性を理解し、差別や偏見をなくすための自らの責務を自覚している。	○人権教育基本方針を理解している。○児童生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、差別意識をなくそうとする態度や実践力を育む指導を他の教職員と相談しながら、展開することができる。	○児童生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、差別解消に向けて自ら考え、行動できる力を育む指導を他の教職員と連携しながら、展開することができる。	○人権教育推進計画に基づく取組を系統的・日常的に実践するとともに、解決すべき課題や指導のねらいを明らかにして、若手教員に適切な指導・助言ができる。	○児童生徒の実態に合わせた能動的な人権学習を構築し、解決すべき課題や指導のねらいを明らかにした全体計画の立て方等について、他の教職員に適切な指導・助言ができる。
	特別支援教育	○特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の必要性と、児童生徒が互いを尊重し、共に学ぶことの大切さを理解している。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態の把握に基づく指導・支援を行うことができる。また、他の教職員と連携・協力しながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態を把握し、指導内容や指導方法を工夫して適切な指導・支援を行うことができる。また、教職員間の共通理解を図りながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態に応じた指導・支援を、地域や関係機関と連携し、適切に行うことができる。また、教職員間の共通理解を深めながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態に応じた指導・支援を、地域や関係機関と連携し、適切に行うことができる。また、他の教職員に指導・助言しながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を組織的に実践することができる。
外国人児童生徒教育	○日本語指導が必要な児童生徒に対する指導や保護者への支援の必要性、多文化共生に係る学習の大切さを理解している。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、適切な指導・支援を行うことができる。また、他の教職員と連携・協力しながら、多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、適切な指導・支援を行うことができる。また、教職員間の共通理解を図りながら、多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、地域や関係機関と連携し、適切な指導・支援を行うことができる。また、多文化共生に係る学校全体の取組において中心的な役割を果たすことができる。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、地域や関係機関と連携し、適切な指導・支援を行うことができる。また、多文化共生に係る学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	
教職を担うにあたり必要とされる専門性	いじめに関する事項	○いじめの防止、早期把握の必要性を理解している。	○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の発するサインを察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、他の教職員と連携・協力しながら組織的に取り組むことができる。	○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職と連携し、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、組織的に取り組むことができる。	○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職と連携し、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、組織的に取り組むことができる。	
	不登校に関する事項	○児童生徒が安心して意欲的に学ぶことができる学校・学級づくりや不登校の初期対応の必要性を理解している。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより、不登校の初期段階での改善・解消に向け、他の教職員と連携・協力しながら組織的な対応をすることができる。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより児童生徒の実態を把握し、不登校の初期段階での改善・解消に向け、保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に適切な指導・助言を行い、組織的な対応をすることができる。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより児童生徒の実態を把握し、不登校の初期段階での改善・解消に向け、保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に適切な指導・助言を行い、組織的な対応をすることができる。	
	防災に関する事項	○三重県の地理的特性をふまえた防災教育の重要性を理解している。	○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深めるとともに、危険を回避する方法を習得できるよう指導することができる。	○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して指導することができる。	○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して指導することができる。	
教育課題への対応力	グローバル教育・郷土教育	○豊かな国際感覚を持つことや、郷土を愛することの大切さを理解している。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開することができる。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開するとともに、指導方法について若手教員に適切な指導・助言ができる。	○地域と連携して、豊かな国際感覚と郷土を愛する心を身につける学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	
	キャリア教育	○社会の動向やニーズに関心をもち、キャリア教育の重要性を理解している。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につける学習を展開することができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制を整備し、指導方法について若手教員に適切な指導・助言ができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、指導体制や実践を支える運営体制を整備することができる。	
	情報教育	○ICTの効果や情報教育の必要性を理解している。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開することができる。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	○児童生徒に情報活用の実践力や情報モラルについて理解を深めるための学習を展開し、学校全体の取組において指導的な役割を果たすことができる。	
	人権教育	○人権教育の意義とその重要性を理解し、差別や偏見をなくすための自らの責務を自覚している。	○人権教育基本方針を理解している。○児童生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、差別意識をなくそうとする態度や実践力を育む指導を他の教職員と相談しながら、展開することができる。	○児童生徒が人権課題についての正しい理解と認識を深め、差別解消に向けて自ら考え、行動できる力を育む指導を他の教職員と連携しながら、展開することができる。	○人権教育推進計画に基づく取組を系統的・日常的に実践するとともに、解決すべき課題や指導のねらいを明らかにして、若手教員に適切な指導・助言ができる。	
	特別支援教育	○特別な支援を必要とする児童生徒への指導・支援の必要性と、児童生徒が互いを尊重し、共に学ぶことの大切さを理解している。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態の把握に基づく指導・支援を行うことができる。また、他の教職員と連携・協力しながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態を把握し、指導内容や指導方法を工夫して適切な指導・支援を行うことができる。また、教職員間の共通理解を図りながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を実践することができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒の特性や実態に応じた指導・支援を、地域や関係機関と連携し、適切に行うことができる。また、教職員間の共通理解を深めながら、児童生徒が共に学ぶという視点に立った教育活動を組織的に実践することができる。	
	外国人児童生徒教育	○日本語指導が必要な児童生徒に対する指導や保護者への支援の必要性、多文化共生に係る学習の大切さを理解している。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、適切な指導・支援を行うことができる。また、他の教職員と連携・協力しながら、多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、適切な指導・支援を行うことができる。また、教職員間の共通理解を図りながら、多文化共生への理解を深める教育活動を実践することができる。	○日本語指導が必要な児童生徒に対して、地域や関係機関と連携し、適切な指導・支援を行うことができる。また、多文化共生に係る学校全体の取組において中心的な役割を果たすことができる。	
	いじめに関する事項	○いじめの防止、早期把握の必要性を理解している。	○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の発するサインを察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、他の教職員と連携・協力しながら組織的に取り組むことができる。	○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職と連携し、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、組織的に取り組むことができる。	○いじめの防止や早期把握のために、児童生徒の行動やわずかな変化を察知し、適切に対応することができる。また、早期解決に向けて、管理職と連携し、他の教職員に適切な指導・助言をしながら、組織的に取り組むことができる。	
	不登校に関する事項	○児童生徒が安心して意欲的に学ぶことができる学校・学級づくりや不登校の初期対応の必要性を理解している。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより、不登校の初期段階での改善・解消に向け、他の教職員と連携・協力しながら組織的な対応をすることができる。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより児童生徒の実態を把握し、不登校の初期段階での改善・解消に向け、保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に適切な指導・助言を行い、組織的な対応をすることができる。	○児童生徒の居場所づくりや仲間づくりに取り組むとともに、積極的な声かけや関わりにより児童生徒の実態を把握し、不登校の初期段階での改善・解消に向け、保護者や関係機関と連携しながら、他の教職員に適切な指導・助言を行い、組織的な対応をすることができる。	
	防災に関する事項	○三重県の地理的特性をふまえた防災教育の重要性を理解している。	○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深めるとともに、危険を回避する方法を習得できるよう指導することができる。	○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して指導することができる。	○児童生徒が三重県の地理的特性を理解し、防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を家庭や地域と連携して指導することができる。	

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(2) 教頭・准校長及び校長としての資質の向上に関する指標

職 階		教 頭・准校長	校 長
		マネジメント力の向上	マネジメント力の発揮
資質能力にかかわる項目		校長を補佐し、管理職として教職員をとりまとめ、豊かな教職経験を活かして適切に学校経営を行う。	教育者として高い見識を持ち、学校のリーダーとして幅広い視野で学校経営を行う。
教職を担うに必要とされる素養	教育的愛情 使命感 責任感	○児童生徒への深い愛情と、教職への誇りを持って、児童生徒の教育にあたり、教職員の行動の模範となることができる。また、強い使命感と責任感を持って、学校運営にあたることことができる。	○児童生徒への深い愛情と、教職への誇りを持って、児童生徒の教育にあたり、教職員の行動の模範となることができる。また、強い使命感と責任感を持って、学校運営にあたることことができる。
	倫理観 コンプライアンス	○高い倫理観を持ち、コンプライアンスを常に意識して自らを厳しく律し、児童生徒や教職員の模範となる行動をとることにより、信頼される学校づくりを進めることことができる。	○高い倫理観を持ち、コンプライアンスを常に意識して自らを厳しく律し、児童生徒や教職員の模範となる行動をとることにより、信頼される学校づくりを進めることことができる。
	社会性 コミュニケーション力	○高い人権感覚を有し、保護者をはじめとした関係者、関係機関と誠意を持って対話し、信頼関係を築くことことができる。また、情報共有を大切に、教職員との信頼関係を深め、人間関係が円滑で働きやすい職場づくりを進めることことができる。	○高い人権感覚を有し、保護者をはじめとした関係者、関係機関と誠意を持って対話し、信頼関係を築くことことができる。また、情報共有を大切に、教職員との信頼関係を深め、人間関係が円滑で働きやすい職場づくりを進めることことができる。
	学び続ける意欲 探究心	○管理職として高い見識と広い視野を持ち、常に自分の姿を振り返りながら、自らの力量を高めるために継続的に研究や研鑽に励むことことができる。	○管理職として高い見識と広い視野を持ち、常に自分の姿を振り返りながら、自らの力量を高めるために継続的に研究や研鑽に励むことことができる。
管理職として必要とされるマネジメント力	教員の指導力向上	○校長が示すカリキュラム・マネジメントに基づく方針を理解し、校内研修を企画・運営する等、教員の指導力向上・授業改善の取組を組織的かつ計画的に推進するとともに、教員に授業改善に向けた適切な指導・助言ができる。	○学習指導要領等の理念の実現に向け、児童生徒の姿や地域の実情をふまえたカリキュラム・マネジメントを適切に行い、教員の指導力向上・授業改善の取組を組織的かつ計画的に推進するとともに、教員に授業改善に向けた適切な指導・助言ができる。
	学校経営	○校長が示す学校経営方針や学校教育目標の達成に向けて教職員が丸ごと取り組むことことができるよう校内組織をまとめ、教職員の抱える課題を捉え、適切な指導・助言ができる。	○地域の特性や学校へ寄せられる期待等をふまえて、学校経営にかかる課題を的確に把握して学校経営方針や学校教育目標を設定し、その達成に向けて組織的に継続して取り組むことことができる。
	危機管理	○学校を取り巻く危機管理について、家庭や地域、関係機関と連携し、危機発生時には、児童生徒の安全確保を最優先して、対応方針に沿って主体的に対応するとともに、教職員に的確な指示をすることができる。	○学校にかかる危機を想定して、日常から未然防止の対策を講じるとともに、危機発生時には対応方針を明確に示し、迅速かつ組織的に対応できる。
	チームワーク 人材育成	○教職員の能力や適性を的確に把握し、個々の特性を活かしなが、その伸長をはかるとともに、対話によって信頼関係を深め、チームとして機能するよう学校の体制を整えることことができる。	○教職員の能力や適性を的確に把握し、必要な指導と支援によりその伸長をはかり、教職員が信頼関係を深め、チームとして機能する学校の体制を構築することことができる。
	家庭・地域社会・関係機関との連携と協働	○地域とのつながりを深め、家庭、地域社会、関係機関の要望を的確に把握し、連携・協力を得ながら、自校の教育活動を進めることことができる。	○家庭、地域社会、関係機関との信頼関係を築き、積極的に外部人材を活用する等、関係者の協力を得ながら自校の教育活動に必要な体制を構築することことができる。
	ワーク・ライフ・バランス	○ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、心身ともに健康で誇りとやりがいを持って職務に専念できるよう、教職員の勤務時間や勤務状況等を把握し、必要に応じて相談に応じるとともに、適切な指導・助言ができる。	○ワーク・ライフ・バランスの考え方にに基づき、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、心身ともに健康で誇りとやりがいを持って働くことことができる職場づくりを推進するため、教職員の勤務時間等の管理を適正に行うとともに、業務の改善や働き方の見直しを率先して行うことことができる。
	グローバル教育・郷土教育	○児童生徒に豊かな国際感覚や郷土に対する愛着と誇りを育む教育活動を、学校の教育目標に沿って教職員が組織的に展開できるよう、適切な指導・助言ができる。	○児童生徒に豊かな国際感覚や郷土に対する愛着と誇りを育む教育活動を展開できるよう、学校の教育目標を設定し、教職員が組織的に取り組む体制を構築することことができる。
	キャリア教育	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、学校のキャリア教育の目標に沿って、保護者や地域、関係機関との連携を図りながら、教職員が組織的に取り組むことことができるよう、適切な指導・助言ができる。	○児童生徒が学ぶことと将来のつながりを見通し、社会的・職業的に自立する力を身につけるために、キャリア教育の目標を設定し、保護者や地域、関係機関との連携を図りながら、教職員が組織的に取り組む体制を構築することことができる。
	情報教育	○児童生徒に、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成するとともに、ICTを活用した効果的な指導が学校全体として進められるよう、教職員に必要な指導・助言をすることができる。	○児童生徒に、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成するとともに、ICTを活用した効果的な指導が学校全体として進められるよう学校教育目標を設定し、教職員全員が専門性を高めて取り組む体制を構築することことができる。
	人権教育	○児童生徒が人権について正しい理解と認識を深め、偏見や差別をなくしていくこととする態度を身につけるため、地域と連携して教職員が人権教育を組織的かつ系統的に進めていけるよう、適切な指導・助言ができる。	○児童生徒が人権について正しい理解と認識を深め、偏見や差別をなくしていくこととする態度を身につけるため、学校の教育活動全体を通じて人権教育が総合的かつ系統的に展開できるよう、人権教育計画を策定し、保護者や地域、関係機関と連携しながら進めることことができる。
特別支援教育	○全ての教職員が特別な支援を必要とする児童生徒への対応について見識を深めることことができるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。また、自校の状況を的確に把握し、保護者や地域、関係機関と連携するとともに、必要な支援等が組織的に行われるよう、教育体制を整えることことができる。	○特別な支援を必要とする児童生徒への対応について深い見識を持ち、適切な指導や必要な支援が組織的に行われるよう、保護者や地域、関係機関と連携して、自校の教育体制を構築するとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	
外国人児童生徒教育	○全ての教職員が日本語指導が必要な児童生徒への対応や多文化共生について見識を深めることことができるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。また、自校の状況を的確に把握し、保護者や地域ボランティア、関係機関等と連携を図り、必要な支援等が組織的に行われるよう、教育体制を整えることことができる。	○日本語指導が必要な児童生徒への対応や多文化共生について深い見識を持ち、適切な指導や必要な支援等が組織的に行われるよう、保護者や地域ボランティア、関係機関等と連携を図り、自校の教育体制を構築するとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	
いじめに関する事項	○いじめの防止及び早期発見・早期解決を図るため、学校いじめ防止基本方針に基づき、保護者や地域、関係機関等と連携して、組織的に対応することことができるよう教職員をまとめることことができる。また、いじめ事案が発生した際には、対応方針に沿って、問題解決に向けて組織的に対応できるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	○いじめの防止及び早期発見・早期解決を図るため、学校いじめ防止基本方針を策定し、保護者や地域、関係機関等と連携して、組織的に対応する学校体制を構築することことができる。また、いじめ事案が発生した際には、対応方針を明確にし、問題解決に向けて率先して誠実に対応するとともに、教職員に対して適切な指示及び指導・助言ができる。	
不登校に関する事項	○不登校及び不登校傾向の児童生徒に対する深い見識を持ち、児童生徒や保護者に対する必要な支援や関係機関等との連携を行いながら、的確な対応ができるよう、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	○不登校及び不登校傾向の児童生徒に対する深い見識を持ち、保護者や関係機関等と連携を行いながら、率先して的確な対応を行うとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	
防災に関する事項	○児童生徒が防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を身につけられるよう、自校の方針に沿って、保護者や地域、関係機関と連携しながら自校の防災教育を組織的な取組を進めるとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	○児童生徒が防災に関する知識を深め、危険を予測し回避する能力と自然災害に対応する力を身につけられるよう、防災教育の方針を定め、保護者や地域、関係機関と連携しながら組織的な取組を進めるとともに、教職員に対して適切な指導・助言ができる。	

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(3) 養護教諭に必要な事項(専門領域)

ライフステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降	
		基礎形成期	伸長期	充実期	発展期	
資質能力にかか る項目	養護教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。	
養護教諭に必要な事項(専門領域)	保健管理	○学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を身につけている。	○児童生徒の心身の健康課題を把握し、教職員や関係機関と相談しながら対応できる。	○児童生徒の心身の健康課題を的確に把握し、教職員や関係機関と連携して対応できる。	○保健管理にかかる高い専門性を身につけ、児童生徒の心身の健康課題の解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	○保健管理にかかる高い専門性を活かし、学校、家庭、地域、関係機関を連携させて、的確に対応する組織づくりができる。
	保健教育	○保健教育にかかる専門性や学習指導要領に関する基礎的な知識を有している。	○児童生徒の実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、専門性を活かした保健教育ができる。	○児童生徒の心身の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を実践するとともに、自己の取組を評価し、改善を図ることができる。	○組織的な保健教育を推進するために、教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、養護教諭の視点を活かして他の教職員の実践に対し、指導・助言を行うことができる。
	保健室経営	○保健室経営における養護教諭の役割を理解するとともに、保健室経営計画を立案する知識を有している。	○学校教育目標をふまえ、児童生徒の心身の健康課題に応じた、保健室経営計画を作成し、計画に従って実践できる。	○学校教育目標をふまえ、他の教職員と連携し、組織的な保健室経営を行うことができる。	○学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画に従って実践するとともに、自己評価を行い、改善を図ることができる。	○学校教育目標の実現に向け、保健室経営から得られる情報を校外外に発信することをおして、教育活動全体の充実を図る取組に参画することができる。
	健康相談	○学校保健安全法における健康相談の位置づけや、健康相談の基本的プロセス(課題の背景把握、支援方針・支援方法の検討、校内外の連携など)を理解している。	○児童生徒の心身の健康課題を捉え、学校医等の専門職や保護者と連携を図りながら、適切な健康相談を実施することができる。	○児童生徒の心身の健康課題を的確に捉え、学校医等の専門職や保護者と連携し、校内の支援体制づくりができる。	○健康相談にかかる高い専門性を身につけ、児童生徒の支援体制の充実を図るために、教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、校外員や地域など校内外の連携における支援体制づくりができる。
		○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の相談を受けられることができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	
保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する校内外の協力体制の重要性を理解している。	○校内の保健組織活動の企画、運営に参画できる。	○校内の保健組織活動において、中心的な役割を担い、組織の活動の改善を図ることができる。	○保健組織活動を地域ぐるみの取組につなげるため、近隣の学校や関係機関との連携を図ることができる。	○広域的な保健組織活動の活性化に向けて、他の教職員や保護者、関係機関に対し、指導的役割を担うことができる。	

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(4) 栄養教諭に必要な事項(専門領域)

ライフステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ		
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降		
		基礎形成期	伸長期	充実期	発展期		
資質能力にかかわる項目	栄養教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。		
栄養教諭に必要な事項(専門領域)	給食管理	栄養管理(献立作成)	○学校給食摂取基準に基づき、食事状況調査、嗜好調査、残食量調査等の結果をふまえた献立を作成することができる。	○学校給食摂取基準に基づく栄養管理に加え、郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら、献立を作成することができる。	○栄養教諭の専門性を活かして、児童生徒の身体状況を考慮し、地域性に応じた献立作成及び栄養管理ができる。	○栄養管理や献立作成に関して、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。	
		衛生管理	○学校給食衛生管理基準を理解し、衛生管理に関する基礎的な知識・技能を有している。	○学校給食衛生管理基準に基づき、日常的に施設設備、食品を管理するとともに、調理従事者に対する適切な衛生管理ができる。	○学校給食衛生管理基準についての理解を深め、日常的な衛生管理に加えて、学校給食の衛生管理について教職員に対して適切な指導・助言ができる。	○衛生管理に関する高い専門性を身につけ、日常的に適切な衛生管理を行うとともに、食品納入業者等、地域の学校給食関係者に対しても必要な指導・助言ができる。	
	食に関する指導	給食の時間の指導	○給食の時間における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。	○給食の時間における食に関する指導のための資料を学級担任に提供し、連携して児童生徒への指導ができる。	○給食と教科等との関連を考慮し、学級担任が年間をとおして食に関する指導が行えるよう支援するとともに、連携して児童生徒への指導ができる。	○学級担任が献立計画を活用し、教科等と関連させた食に関する指導を継続的に行えるよう支援するとともに、食に関する年間指導計画を中心となって策定することができる。	○学級担任が献立計画や食に関する年間指導計画に基づいて、他の栄養教諭を支援するなど、地域においても指導的役割を担うことができる。
		教科等における指導	○教科等における食に関する指導について、基礎的な知識・技能を有している。	○学級担任と連携し、栄養教諭の専門性を活かした児童生徒への指導ができる。	○学校教育目標や地域性をふまえ、栄養教諭の専門性を活かして、家庭・地域と連携した食育を推進することができる。	○栄養教諭の専門性を活かし、教職員や地域など校内外の連携における食育推進のコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○地域において、校種毎の学習内容に応じた系統的な食育を推進するためのコーディネーターとなり、連携・調整を行うとともに、他の栄養教諭に対し、指導・助言ができる。
		個別の相談指導	○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の食に関して個別の相談を行うことの重要性を理解している。	○食に関する健康課題についての最新情報の収集に努め、児童生徒の課題とつなげ、医療機関等と連携を図りながら教職員とともに、児童生徒や保護者に対する指導・助言ができる。	○児童生徒の食に関する健康課題を総合的に判断し、児童生徒の課題に応じて医療機関等と連携を図りながら指導・助言をするとともに、栄養教諭の専門性を活かして教職員に対しても指導的役割を担うことができる。		